



国立大学法人

鹿児島大学概要

KAGOSHIMA UNIVERSITY

2008

CONTENTS

はじめに

- 02... 学長からのメッセージ・歴代学長
- 03... 大学憲章
- 04... 基本理念
- 05... 鹿児島大学の特色ある取り組み
- 07... 沿革

組織

- 09... 組織図
- 10... 役職員等
- 13... 役職員数

学部・大学院等

- 14... 学部
- 18... 大学院
- 22... 教育学部附属学校
- 23... 医学部・歯学部附属病院
- 25... 附属図書館
- 27... 学内共同教育研究施設等
- 34... 学内風景

学生等

- 35... 入学定員・現員数
- 37... 入学状況
- 39... 卒業・修了数 / 就職状況
- 40... 学位授与状況・奨学生状況
- 41... 附属学校入学定員・現員数

教育・研究・社会貢献活動

- 42... 教育プログラム等
- 43... 教育研究プロジェクト
- 44... リポジトリ・学術刊行物
- 45... 産学官連携活動
- 46... 公開講座等

国際交流

- 48... 国際共同研究プロジェクト等
- 49... 学術国際交流協定締結状況
- 50... 研究者交流状況・国際共同研究実施件数
- 51... 外国人留学生
- 53... 国際交流拠点

財務

- 54... 収入・支出決算額 / 予算
- 55... 外部資金受入状況

キャンパス

- 57... 土地・建物・船舶
- 58... 福利厚生施設・体育施設等
- 61... 地区別建物等配置図
- 65... 位置図・交通アクセス
- 66... 所在地一覧

学 年 暦

学 期	
前 期 4月1日～9月30日
後 期 10月1日～3月31日
入 学 式 4月7日



休 業	
春 季 休 業 4月1日～4月10日
夏 季 休 業 8月1日～9月30日
冬 季 休 業 12月25日～1月8日
鹿児島大学記念日 11月15日



卒 業 式 3月25日
-------	-------------



鹿児島大学学章



創立50周年を記念して制定された。
KAGOSHIMAの頭文字『K』をデザインしたものである。
今、まさに飛び立とうとしている姿を『鳳』の形にデザインし、歴史と伝統に輝く鹿児島大学のキャンパスを巣立つ卒業生が世界の舞台を翔ようとしている姿をシンボル化したものである。

鹿児島大学は北辰斜めにさす、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれた南の門戸であり、海と桜島などの活火山と世界遺産の屋久島などの島々からなる豊かな自然環境に恵まれ、また豊饒の文化を育んだ地にあります。鹿児島は、わが国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきました。明治以降にも鹿児島にはさまざまな分野の高等教育機関が設置され、この教育的伝統と基盤が受け継がれてきました。

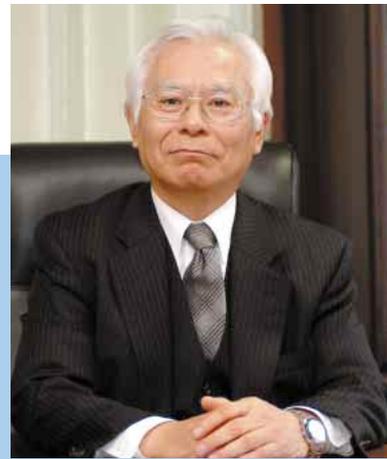
鹿児島大学はその源を1773年に設立された藩学造士館や医学院(1774年設立)に遡ることができます。昭和24年5月、第七高等学校、鹿児島師範学校、鹿児島青年師範学校、鹿児島農林専門学校および鹿児島水産専門学校を母体として文理・教育・農・水産の4学部から成る新制国立大学として発足しました。その後、昭和30年、医学部および工学部が鹿児島県立大学からの国立移管によって増設されました。さらに、昭和52年、歯学部が新設され、平成10年、医学部保健学科の増設により、現在の骨格が整いました。

大学院は昭和34年、大学院医学研究科の設置に始まり、理工学研究科、連合農学研究科を経て、平成15年人文社会科学研究科(博士)が設置され、さらに医学部・歯学部研究科は重点化統合により医歯学総合研究科へと発展しました。さらに、平成16年、専門職大学院司法政策研究科が、平成17年に保健学研究科(博士)が、平成19年、専門職大学院臨床心理学研究科が設置されております。

現在、鹿児島大学は、8学部10大学院研究科からなり、約10,000名の学部生と約2,000名の大学院生(約300名の留学生)ならび約2,500名の教職員が在籍する人類社会の発展の基礎となる「知の創生とその継承」を使命とする地域の「知の拠点」であります。

鹿児島大学は、社会の要請に一層応えるために大学の使命と存在意義を再確認し、「鹿児島大学憲章」としてまとめ、平成19年11月15日の第59回の開学記念日に制定しました。大学憲章では、「鹿児島大学は鹿児島の地理的特性と教育的伝統を踏まえ、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす」ことを謳い、「鹿児島大学は、幅広い教養教育と高度な専門教育と行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養い、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会と地域社会で活躍しうる人材を育成すること」鹿児島大学は、社会貢献を重視し南九州を中心とする地域産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など地域社会の発展と活性化に貢献する」ことを高らかに宣言しました。

今、鹿児島大学は長い歴史と伝統を踏まえつつ、国立大学法人化を機に、新しい21世紀の総合大学を創出し、大学に期待される使命をさらに発展・展開させようとしています。



吉田 浩己 学長

歴 代 学 長

氏 名	任 期	備考	氏 名	任 期	備考
緒 方 健三郎	昭和24年 5月31日～昭和31年 7月31日		石 神 兼 文	昭和56年1月12日～昭和60年1月11日	
福 田 得 志	昭和31年 8月 1日～昭和35年 7月31日		井 形 昭 弘	昭和60年1月12日～昭和62年1月11日	
町 野 碩 夫	昭和35年 8月 1日～昭和39年 7月31日		早 坂 祥 三	昭和62年1月12日～平成 3年1月11日	
中 村 末 男	昭和39年 8月 1日～昭和43年 7月31日		田 中 弘 允	平成 3年1月12日～平成 5年1月11日	
蟹 江 松 雄	昭和43年 8月 1日～昭和44年10月21日		永 田 行 博	平成 5年1月12日～平成 9年1月11日	
	昭和44年10月21日～昭和46年 1月11日		吉 田 浩 己	平成 9年1月12日～平成13年1月11日	
	昭和46年 1月12日～昭和50年 1月11日			平成13年1月12日～平成15年1月11日	
	昭和50年 1月12日～昭和54年 1月11日			平成15年1月12日～平成19年1月11日	
	昭和54年 1月12日～昭和56年 1月11日			平成19年1月12日～	

学長事務取扱



鹿児島大学憲章

鹿児島大学は、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれ、海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は、我が国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ、鹿児島大学は、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

教育

鹿児島大学は、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍しうる人材を育成する。

研究

鹿児島大学は、個々の研究を重視するとともに、種々の学問分野における優れた研究者の連携により、21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿児島大学は、地域の要請に応える研究を展開するとともに、普遍性を求める研究活動を推進し、世界水準の研究拠点をめざす。

社会貢献

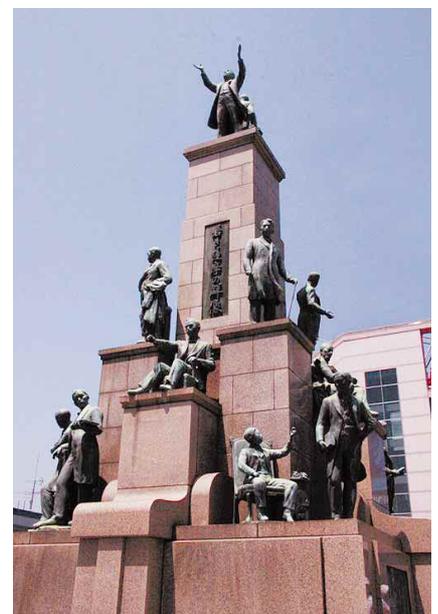
鹿児島大学は、南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する。

鹿児島大学は、アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。

大学運営

鹿児島大学は、学長のリーダーシップのもと、全構成員が運営に責任をもって参画することにより、教育研究環境の充実を図る。

鹿児島大学は、大学の自治を礎とし、常に自己点検・評価を行うとともに、外部からの意見を積極的に反映させ、透明性の高い公正な大学運営を行うことにより、社会への責任を果たす。



2007年11月15日 制定

鹿兒島大学の基本理念

鹿兒島大学の使命

鹿兒島大学は、その拠点が、日本列島の南の玄関に当たり、古くから海外との交流や文化の移入の先進地であり、近代への先導者の輩出地であったこと、海洋と島嶼に恵まれ後世に遺すべき優れた自然環境と伝統、文化の地であることに鑑み、また、地球規模で新たな豊さを享受する時代が拓かれつつあるとの深い認識のもと、学問の自由と多様性を堅持し、自主自律の精神を涵養しつつ、「真善美を深く究めこれを具現し世界を先導する総合学術共同体」への持続的な展開を図る。

すなわち、鹿兒島大学は、真理を愛し、高い倫理観と芸術性を備え、怯懦を排して自ら困難に挑戦する人格を育成し、学術と学芸のあらゆる分野で新たな時代にふさわしい体系と枠組みを創出することによって、また、国際的視点を堅持しつつ地域社会に密着しその発展に貢献することを通じて、学術文化向上への寄与はもとより、基本的人権ならびに自由と自主の尊重、人類の福祉と連帯、国際理解と寛容、世界平和および地球環境の保全に留意した維持可能でかつ公正な社会の発展に寄与する。

教 育

鹿兒島大学は、開かれた大学として、学ぶ意欲と関心を自ら引き出す力のあるすべての人々を受け入れ、在学前後の教育機関やキャリア形成の種々の場との緊密な連携をはかりつつ、学生の潜在能力と適性の発見ならびにそれらの開花を促し、入学時の諸能力を顕著に発展させて大学の使命の実現に努めるとともに、これらを一層推進するための優れた教育の体系と方法を絶えず開発し展開することに努める。

研 究

鹿兒島大学は、知者不言を美德とする場を超え出て、個々の卓越性の明確な自認と発信を促進して、学生を同伴した個性的独創的研究を展開するとともに、先端化しつつも細分化される個々の分野の統合を念頭に置きながら、世界と地域が求める新たな学術の体系と枠組みの創出に果敢に挑みそれらを高度に達成することによって、世界を先導する総合学術共同体の実を挙げる。

地域社会、国際社会との関係

鹿兒島大学は、その使命にかなう限り、地域ならびに国際社会のあらゆる領域の多様な要請に対応することを抱負とし、また、学術と学芸のすべての分野で得られた成果を積極的に普及、活用するために、情報の迅速な公開と発信に努め、施設の開放はじめ種々の公開事業、交流事業を通じて地域の振興と活性化に貢献するとともに、国際社会の連帯と協力に資する知的交流網の核となることによって学術の国際的進展を牽引し、同時に、これらの活動から広く啓発されることを喜びとする。

組織運営

鹿兒島大学は、学生教職員の協働のもと、学部、研究科等教育研究上大きな役割を果たす基礎組織が大学全体の運営に等しく参画する機会をもつことはもとより、地域住民の参加と支援および学長による適切な指導的役割を重視し、弾力的で機動的に富む民主的組織運営を行う。

鹿兒島大学は、その活動の点検評価に最適の体制を自発的に創出して機能させ、積極的に社会に対する説明責任を果たしつつ、学術の高度化、専門化の動向ならびに「男女共同参画」、「バリアフリー」等社会や地域の多様な要請にこたえて、また大学の財務面、施設面にも配慮して、組織運営の不断の自律的改善に努め、安全で快適な総合学術共同体の一層の充実を図る。

大学憲章に基づくプロジェクト事業

教育

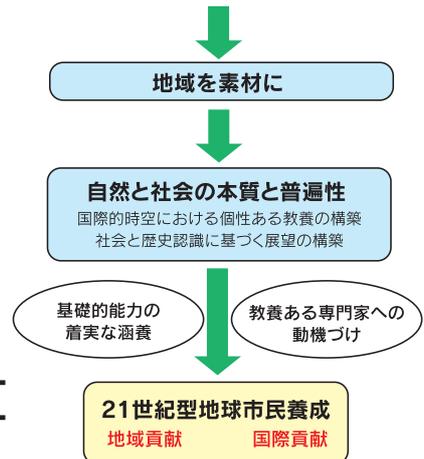
「鹿児島の中に世界をみる教養科目群」

実施チームリーダー：理学部 根建 心具 教授
メンバー17名

鹿児島大学は、これまで、「鹿児島」の研究から明らかになった鹿児島の政治や経済、文化、伝統、人類史、地球史等の知見を学生の教育に反映させてきたが、今年度は、鹿児島という地域の個別的な情報提供にとどまらず、さらに発展させるために「鹿児島探訪」の講義シリーズと体験シリーズの教養科目群を整備する。講義シリーズでは、鹿児島という地域の中にある自然と文化を学び、そこに内在する本質を見抜く力、ならびに鹿児島から世界を認識する力を養成する。体験シリーズでは、個々の現象がお互いに関連しあって限られた地域の中にどのように具現化されるのかを体験的に理解する。既に整備し実施している国際感覚養成教育との連携の下にグローバルな思考と法則を理解させ、世界への貢献意識と実践意欲を養成するという、優れた教養教育のモデル化を図る。

「鹿児島の中に世界をみる教養科目群」の教育コンセプト

鹿児島大学の地域研究+専門的職業人、鹿児島県、NPO



シリーズ等名	主な開講科目
鹿児島探訪 ～講義シリーズ～	自然/環境/考古/歴史/文化/鹿児島大学/地域産業/ 離島対策/国際貢献/循環型社会と世界遺産
鹿児島探訪 ～体験シリーズ～	島のしくみ/奄美大島の自然と人々/奄美の自然と織物/ 自然体験活動入門講座-高隈の自然の中で学ぶ-海へ出よう/ 霧島の自然・文化・社会と暮らし/鹿児島湾の自然と人々/ 種子島の自然と人々/鹿児島の四季 キャンパス俳句会/ 海外の学生と鹿児島を探訪しよう/ボランティア活動に学ぶ/ 鹿児島探訪プロジェクト/マイ・オリジナル『鹿児島探訪』
鹿児島探訪 ～発展科目～	鹿児島の自然と災害/南太平洋多島域(1 島々と海・2 人と社会) / 奄美の民俗文化/九州の古墳文化/干潟の生物学/水産生物学/ 鹿児島島の文化遺産とまちづくり/シラス地域学/ 学芸員の業務と役割-文化のプロデューサー-/ いのちを学ぶ-ハンセン病といのち-/焼酎



「奄美大島の自然と人々」でのマングローブ調査を終えて

「ボランティア論」

実施チームリーダー：農学部 林 國興 教授
メンバー 9 名

鹿児島大学は、鹿児島大学憲章の社会貢献分野において、「南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する」また「アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。」と謳っている。この憲章の理念を学生らと共有し具現する一助として、共通教育科目において、平成20年度に「ボランティア論」を新設した。

今、私達は、複雑な社会の歯車として仕事をしながら日々を過ごしているが、そのような仕事に生き甲斐を感じられない場合も少なくない。また、既存の体制では対応できない社会問題も多々発生している。このような状況の中で、ボランティア活動は、心ある人々が自然に始めた社会活動であるが、この「ボランティア論」が、鹿児島大学の学生が平和で豊かな社会づくりにボランティアとして積極的に参加するための動機付けになればと期待している。



市民ボランティアによる農学部花壇

授業内容

ボランティアの精神ならびに歴史
現代社会におけるボランティアの意義
ボランティア活動の問題点と事例
地域社会におけるボランティア(1)
地域社会におけるボランティア(2)
国際社会におけるボランティア
自然保護におけるボランティア
ボランティアと行政

社会貢献

「地域と大学のローカルシンフォニー」
～地域社会の発展と活性化のための大学社会貢献～

実施チームリーダー：教育学部 小林 平造 教授
メンバー15名

本プロジェクトは、「南九州を中心とする地域の産業振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する」と謳った鹿児島大学憲章にもとづいて推進されるものである。

地域社会には、解決すべきたくさんの課題があり、自治体やそこに住む人々は、これを解決するための学びを切実に求めている。そこで、問題解決に向けて、何が課題か、いかなる実態にあるのかを、大学と市民とが共同の取り組みや調査研究を通して明らかにする。また、大学は、蓄積してきた研究力量を生かして、課題解決のための道筋と方法を学ぶ特別講座を地域に提供し、市民との共同学習を進める。大学の学生は、取り組みに参画して、交流・調査・講座を実体験して学ぶ。

これは、地域と大学とが、共同学習・共同研究で響きあうプロジェクトである。また、研究、教育、地域貢献が三位一体となって推進されるプロジェクトである。



特別講座「しまの素材でしまの豊かさを表現する」

「水産資源・環境の持続的開発・管理に向けた国際共同研究・教育」

実施チームリーダー：水産学部 松岡 達郎 教授
メンバー15名

鹿児島大学は、その国際戦略に、「教育研究活動による国際協力・国際貢献の推進」を謳っている。水産学部は東南アジアを主な対象とし、国際研修事業等を含む多彩な国際貢献事業を展開してきた。中でも拠点大学方式による国際学術交流事業では、「熱帯・亜熱帯沿岸海域における水産資源の利用と管理」という開発途上国の水産業が抱える問題をテーマとした研究協力が高い評価を得、アジア研究教育拠点事業の採択へと発展している。事業を通して、双方の学生を相手国教員が教え合うといった、国際教育協力が生まれると共に、域内の大学や国際機関等と水産学教育・研究のためのネットワークを形成してきた。これまでの成果と経験を元に、新たに「東南アジア多大学間協定による水産学教育」に取り組んでいる。この計画は、国際遠隔地教育、多国間単位互換、練習船教育等を組み合わせた国際共同教育を通して、本学とアジアの大学院学生に国際的に通用する質の高い教育を提供しようとするものである。



拠点大学交流国際セミナーでフィリピン大学ピサヤス校長と挨拶する水産学部教員

開始年	事業
平成6年	海外漁業協力財団(OFCF)委嘱国際研修事業：「海外水産指導者養成」コース
平成9年	国際協力事業団(JICA)委嘱国際研修事業：「持続的沿岸漁業(漁具開発設計)」コース(平成12年より「持続的資源利用のための沿岸漁業」コース、平成17年より「持続可能な沿岸漁業II」コースへと発展)
平成10年	拠点大学方式による国際学術交流：「フィリピン沿岸海域における水産資源の利用管理に関する研究」
平成18年	水産学部単独緊急事業：「フィリピン油流出事故が水圏環境、資源、産業及び地域社会に与える影響」
平成19年	特別教育研究経費：「水圏環境・食資源・島嶼医療分野で国際的に活躍できる高度専門能力及び技術経営能力を備えた人材の養成」による大学院生のフィリピン大学ピサヤス校での教育
平成20年	アジア研究拠点事業：「東南アジア沿岸域の水産資源に対するネガティブインパクト対策に関する研究拠点形成」 「東南アジア多大学間協定による水産学教育」への取組開始



組織図

はじめに

組織

学部・大学院等

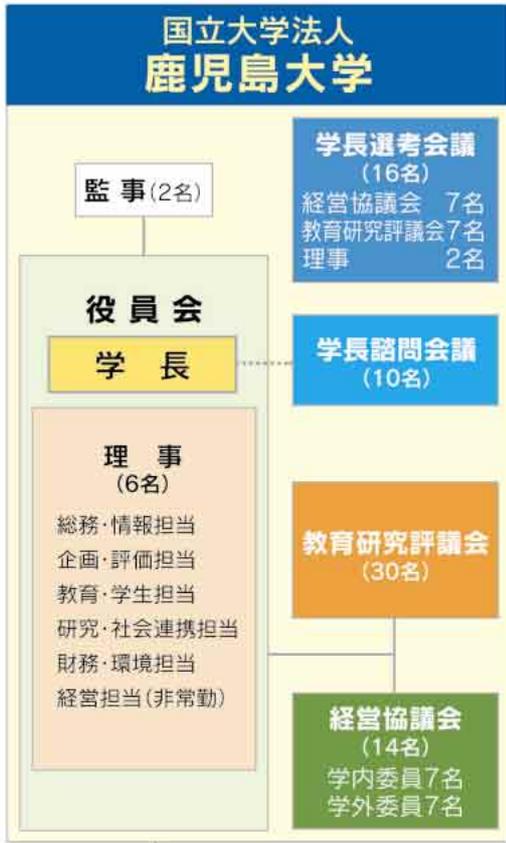
学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス



鹿児島大学



役員

学長		吉田浩己
理事	総務・情報担当	皆川洋一
理事	企画・評価担当	面高俊宏
理事	教育・学生担当	中山右尚
理事	研究・社会連携担当	愛甲孝
理事	財務・環境担当(兼事務局長)	渡部賢
理事	経営担当	吉田和正
監事	業務監査	坂東義雄
監事	会計監査	川崎孝雄

経営協議会委員

学長		吉田浩己
消費生活アドバイザー		石窪奈穂美
鹿児島県副知事		岡積常治
鹿児島商工会議所会頭		諏訪秀治
鹿児島県医師会副会長		園田勝男
志学館大学学長		辰村吉康
社団法人日本産業カウンセラー協会九州支部鹿児島地域責任者		林ユリ子
前鹿屋体育大学理事(非常勤)元鹿児島大学副学長		萬田正治
理事		皆川洋一
理事		面高俊宏
理事		中山右尚
理事		愛甲孝
理事		渡部賢
医学部・歯学部附属病院長		高松英夫

教育研究評議会評議員

学長		吉田浩己
理事		皆川洋一
理事		面高俊宏
理事		中山右尚
理事		愛甲孝
事務局長		渡部賢
法文学部		木部暢子 岡部悟朗
教育学部		河原尚武 内田芳夫
理学部		清原貞夫 宮嶋公夫
医学部		小田紘文 濱田博文

歯学部		植村正憲 鳥居光男
工学部		福井泰好 住吉文夫
農学部		前田芳實 岩元泉
水産学部		野呂忠秀 鈴木廣志
医学部・歯学部附属病院長		高松英夫
大学院医歯学総合研究科長		杉原一正
大学院司法政策研究科長		采女博文
大学院臨床心理学研究科長		山中寛
大学院連合農学研究科長		青木孝良
附属図書館長		井上佳朗
学内共同教育研究施設代表者		中河志朗
教育センター長		谷口溪山

学長諮問会議委員

鹿児島県知事		伊藤祐一郎
京セラ株式会社名誉会長		稲盛和夫
鹿児島大学同窓会連合会会長		江口正純
鹿児島商工会議所名誉顧問		大西洋逸
株式会社鹿児島銀行取締役会長		大野芳雄
崇城大学副学長		中村晋也
株式会社南日本新聞社社長		水溜榮一
鹿児島市長		森博幸
鹿児島テレビ放送株式会社代表取締役社長		山元強
鹿児島県医師会会長		米盛學

学長補佐

入試担当		浅野敏之
財務担当		榮鶴義人
環境科学担当		小野寺浩
将来構想担当		高津孝
評価担当		萩野誠
教育GP担当		八田明夫
法務担当		前田稔
広報担当		守田和夫
法人評価担当		安部淳一
法人評価担当		阿部美紀子
法人評価担当		大坪治彦
法人評価担当		越塩俊介
法人評価担当		島秀典
法人評価担当		仙波伊知郎
法人評価担当		馬場昌範

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

事務局

事務局長	渡部 賢
総務部長	小椋 史朗
総務課長	猪村 篤
総務課広報室長	平原 彰子
企画評価課長	福澤 達弘
人事課長	執行 正一
研究国際部長	南須原 正純
研究協力課長	川西 正美
国際事業課長	竹内 雅雄
財務部長	野崎 講一郎
財務課長	溝口 寛士
経理課長	増田 安和
学生部長	大前 弘
教務課長	岩下 清二
学生生活課長	内山 修一
学生生活課就職支援室長	下田 智子
入試課長	向井 豊実
施設部長	西 幸 繁
企画課長	三島 純一
建築課長	村久木 志郎
設備課長	吉武 信男
学術情報部長	寺垣 敏司
情報管理課長	吉田 英明
情報サービス課長	小川 稔
情報企画推進室長	森田 博人
監査・業務改善室長	山本 高師

学部等

法文学部

学部長	木部 暢子
副学部長	岡部 悟朗
副学部長	平井 一臣
事務長	南谷 久

教育学部

学部長	河原 尚武
副学部長	内田 芳夫
副学部長	武隈 晃
事務長	徳重 潔
附属教育実践総合センター長	松田 君彦
附属幼稚園長	今林 俊一
附属小学校長	今林 俊一
附属中学校長	林 進
附属特別支援学校長	新名主 健一

理学部

学部長	清原 貞夫
副学部長	宮嶋 公夫
副学部長	坪井 昭二
副学部長	宮町 宏樹
事務長	村尾 忠男
附属南西島弧地震火山観測所長	宮町 宏樹

医学部

学部長	小田 紘
副学部長	濱田 博文
副学部長	丸山 征郎
副学部長	石澤 隆

歯学部

学部長	植村 正憲
副学部長	鳥居 光男
副学部長	梶山 加綱
副学部長	伴 清治

医学部・歯学部附属病院

病院長	高松 英夫
副病院長(医科担当)	熊本 一朗
副病院長(歯科担当)	鳥居 光男
薬剤部長	山田 勝士
看護部長	亀割 成子
臨床技術部長	富吉 司
事務部長	上村 孝治
総務課長	田上 豊
経営企画課長	岩村 和彦
管理課長	砂山 優智
医務課長	水流添 茂登

工学部

学部長	福井 泰好
副学部長	住吉 文夫
副学部長	松村 和雄
副学部長	浅野 敏之
副学部長	松本 利達
事務長	肥後 博文

農学部

学部長	前田 芳 實
副学部長	岩 元 泉
副学部長	岡 達 三
附属農場長	坂 田 祐 介
附属演習林長	遠 藤 日 雄
附属動物病院長	遠 藤 泰 之
事務長	松 田 孝 三

水産学部

学部長	野 呂 忠 秀
副学部長	鈴 木 廣 志
副学部長	不 破 茂
附属練習船かごしま丸船長	益 満 侃
附属練習船南星丸船長	東 政 能
附属海洋資源環境教育研究センター長	小 山 次 朗
事務長	岩 川 孝 博

大 学 院

人文社会科学研究科長	木 部 暢 子
教育学研究科長	河 原 尚 武
保健学研究科長	濱 田 博 文
理工学研究科長	福 井 泰 好
農学研究科長	前 田 芳 實
水産学研究科長	野 呂 忠 秀

医歯学総合研究科

研究科長	杉 原 一 正
副研究科長	榮 鶴 義 人
副研究科長	松 山 隆 美
副研究科長	島 田 和 幸
副研究科長	長 岡 英 一
附属難治ウイルス病態制御研究センター長	馬 場 昌 範

医歯学総合研究科等事務部

事務部長	上 村 悦 男
総務課長	新 屋 克 明
学務課長	齋 藤 義 弘

司法政策研究科

研究科長	采 女 博 文
副研究科長	小 栗 實
副研究科長	米 田 健 一

臨床心理学研究科

研究科長	山 中 寛
副研究科長	安 部 恒 久

連合農学研究科

研究科長	青 木 孝 良
------	---------

学内共同教育研究施設等

附属図書館	
附属図書館長	井 上 佳 朗
桜ヶ丘分館長	波 多 野 浩 道
水産学部分館長	川 村 軍 蔵
保健管理センター所長	森 岡 洋 史
多鳥園研究センター長	富 永 茂 人
留学生センター長	大 嶋 眞 紀
総合研究博物館長	大 木 公 彦
学術情報基盤センター長	升 屋 正 人
生涯学習教育研究センター長	原 口 泉
教育センター長	谷 口 溪 山
副センター長	林 國 興
稲盛アカデミー長	吉 田 浩 己
フロンティアサイエンス 研究推進センター長	中 河 志 朗
産学官連携推進機構長	愛 甲 孝
埋蔵文化財調査室長	新 田 栄 治

はじめに

組
織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財
務

キャンパス

役職員数

現員

(平成20年5月1日現在)

部局等	職別	学長	役員	教授	准教授	講師	助教	助手	教諭	小計	事務職員 技術職員等	合計
学	長	1								1		1
役	員		8							8		8
事	務										179	179
国	際			1						1		1
評	価				1					1		1
保	健			1	1		1			3	2	5
多	島			3	1					4		4
留	学			2	2					4		4
総	合			1	3			1		5		5
学	術			3	2		1			6		6
生	涯			1	1					2		2
教	育			1	4					5		5
稲	盛			1	1					2		2
フ	ロ			4	4		2			10	6	16
産	学			1	1					2		2
埋	蔵				1		1			2		2
法	文			50	34	1		2		87	17	104
教	育			49	29	9				87	20	107
	附			6	4					10		10
	附								4	4		4
	附								38	38	6	44
	附								31	31	2	33
	附								27	27	2	29
理	学			30	31	2	10			73	12	85
	附				1		1			2	1	3
医	学			23	5	9	22			59	1	60
医	学			2	6	46	91			145	862	1,007
工	学			39	40	2	25			106	44	150
農	学			46	45	1	8			100	22	122
	附			1	1		1			3	19	22
	附			1	1					2	6	8
	附				1					1	2	3
水	産			18	14	3	7			42	23	65
	附				1	2	2			5	23	28
	附				1	1				2	12	14
	附			3	2		1			6		6
大	学			7	4		4			15		15
大	学			53	45	13	110			221	18	239
	附			4	3	2	1			10		10
	医										41	41
大	学			9	4					13		13
大	学			6	3					9		9
大	学			1						1		1
	計	1	8	367	297	91	288	3	100	1,155	1,320	2,475

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

法文学部



法文学部は、藩学造士館、旧制第七高等学校の系譜を引く学部で、現在、法政策学科、経済情報学科、人文学科の3学科から構成される文系総合学部となっています。本学部では、社会や文化に関する確かな知識と幅広い教養を有し、現代社会の諸問題に適切に対処できる能力をもつ学生の育成を目指しています。

法政策学科では、「実践的法交渉教育」、「政策立案法制化教育」等を充実させた現代型法学教育の展開、経済情報学科では、少人数教育、情報教育を基礎に3つの履修モデルによる問題解決型教育の推進、人文学科では、人間と社会の相互作用の認識や心のケア、多文化社会やメディア文化、地域の理解と文化の育成、国際交流など多方面の教育の充実を図っています。また、3つの学科の個性を生かしながら、キャリア教育やメディア教育など、今日的な課題に積極的に対応した教育を展開しています。

学科・講座

法政策学科

政策科学
市民法
法交渉

経済情報学科

経済システム
経営情報
地域計画
国際協力

人文学科

人間科学
地域環境
日本・アジア総合文化
ヨーロッパ・アメリカ総合文化

教育学部



教育学部は、明治初期に源をもつ各師範学校等、教員養成機関としての長い歴史を通じて、鹿児島県はもとより、全国の教育界など広く社会に有為の人材を送り出してきました。現在は、主に小・中学校、高等学校の教員を育成する学校教育教員養成課程、特別支援学校等で活躍する人材を育成する特別支援教育教員養成課程、社会教育分野などの指導者養成に当たる生涯教育総合課程の3課程で構成されており、教育に関する深い理解と指導力、そして豊かな人間性の形成を目指しています。

課程と講座(専修)

学校教育教員養成課程

国語教育 社会科教育
数学教育 理科教育
音楽教育 美術教育
保健体育 技術教育 教育学
家政教育 英語教育 心理学

特別支援教育教員養成課程

障害児教育

生涯教育総合課程

地域社会教育
国際理解教育
健康教育

附属教育研究施設

幼稚園
小学校
中学校
特別支援学校
教育実践総合センター
寺山自然教育研究施設

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

理学部



「理学」は、自然現象の中に潜む真理を探究する学問であり、そこで明らかにされた自然法則は人類の英知や文化の中に蓄積され、科学技術の発展を支えてきました。こうして現代社会は豊かなものになりましたが、豊かさの裏では環境やエネルギーなどに関する新たな課題も生じました。このような問題を解決するためにも、真理の探究と共に、物事の原理を生かしながら、基礎科学を中心とする自然科学の最新の教育・研究を進めます。

育成する人材像

- * 自然科学の専門知識と幅広い教養を併せもち、論理的科学的思考力を身につけた人
- * 学問の高度化や多様化に柔軟に対応できる、創造力のある人
- * 社会性、国際性、学際性が豊かで、先端科学の知識と問題解決能力を身につけた人
- * 高い倫理観をもって人類の幸福と福祉に貢献できる人

学科・講座

数理情報科学科

数理構造
現象数理
情報数理

物理科学科

物性理論
固体物理
宇宙情報

生命化学科

分子機能化学
有機生化学
生命機能

地球環境科学科

地質科学
島弧火山
環境解析
多様性生物学

附属教育研究施設

南西島弧地震火山観測所

医学部



医学部は、明治2年にウィリアム・ウィリスを校長として設立された島津藩医学校を前身とし、昭和18年に医学科の母体となる県立鹿児島医学専門学校が開校されました。その後幾多の変遷をたどり、昭和30年に鹿児島大学医学部に改称されました。また、平成10年には保健学科が設置され、現在では医学科と保健学科の2学科で構成されています。この間、多くの人材を輩出し、日本各地で医学・医療の進歩と国民の健康と福祉のため多大な貢献をしています。本学部では、人間性豊かな、地域に貢献する、研究心旺盛な、国際的視野に立つ医学・医療を担う人を育成することを目指しています。

学科・学科目等

医学科

医学概説学
疾病病因学
疾病病態学
医学実践学
臨床実践学

保健学科

看護学専攻
総合基礎看護学
臨床看護学
母性・小児看護学
地域看護・看護情報学

理学療法学専攻
基礎理学療法学
臨床理学療法学

作業療法学専攻
基礎作業療法学
臨床作業療法学

附属教育研究施設

医学部・歯学部附属病院

歯学部



歯学部は、沖縄を含む南九州全域における歯科医学の教育、研究の中核的役割を果たすべく、昭和52年10月に設置されました。本学部では、う蝕、歯周疾患、咬合異常、歯の欠損、口腔領域の外傷・形成不全・疼痛・腫瘍などの原因を究明し、これら症状の予防法と治療法を確立していくとともに、歯科医学を通して地域的にも国際的にも十分に貢献する人材を育成することを目標としています。共通・教養教育や基礎医学・隣接臨床医学教育にも力を注ぐとともに、良識ある人間形成に繋がる教育を心掛け、全人的歯科医療人の育成を目指しています。

学科・学科目

歯 学 科

歯科常態学 歯科病態学 発達育成歯科学 口腔顎顔面歯科学

附属教育研究施設

医学部・歯学部附属病院

工学部



昭和24年4月鹿児島県立大学の発足に伴い、鹿児島県立工業専門学校を母体として工学部が設置され、同30年県立から国立移管され鹿児島大学工学部となりました。

工学部は、工学を支える基礎研究の中核及び国際的視野をもった技術者の養成機関として、広い視野と解決能力のある柔軟な頭脳をもつ研究者・技術者の養成を目指しています。また、これまで以上に国際的に通用する技術者の養成を目指して、各学科で教育課程の見直し等を行い、JABEE(日本技術者教育認定機構)への認定に向けて取り組みを行っており、平成20年5月現在、機械工学科・電気電子工学科・建築学科・応用化学工学科(化学工学コース・応用化学コース)・海洋土木工学科が認定を受けています。

学科・講座

機械工学科

設計生産システム工学
エネルギーシステム工学

電気電子工学科

電子物性デバイス講座
電気エネルギー工学
通信システム工学

建築学科

建築構造構成学
居住環境構成学

応用化学工学科

分子工学
機能材料工学
化学システム工学

海洋土木工学科

環境システム工学
建設システム工学

情報工学科

知能情報工学
情報システム工学

生体工学科

生体機能材料
生体電子工学

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

農学部



農学部は、明治41年開設の国立鹿児島高等農林学校に始まり、昭和24年鹿児島大学農学部となりました。日本の食料生産基地に位置する本学部は、生物生産学科、生物資源化学科、生物環境学科および獣医学科の4学科から構成され、附属施設として、附属農場、附属演習林、附属動物病院を有しています。温帯から亜熱帯へ数百kmに及び多様な自然環境と生物資源に恵まれた地域の特性を生かして、農林業、食品産業、食住農関連分野の技術者、地域指導者、獣医師を養成しています。そのため、フィールドでの教育、地域産業と連動したキャリア教育を重視し、豊かな人間性、現場での実践力、すぐれた応用力、広い視野と国際性を備え、地域社会と発展途上国に貢献できる技術者・指導者を養成しています。現在は、学部の上に修士課程(農学研究科)及び博士課程(連合農学研究科、連合獣医学研究科)が設置されています。

学科・講座

生物生産学科

作物生産学
園芸生産学
病虫害制御学
家畜生産学
農業経営経済学

生物資源化学科

生命機能化学
食品機能化学
食糧生産化学

生物環境学科

森林管理学
地域資源環境学
環境システム学
生産環境工学

獣医学科

基礎獣医学
病態・予防獣医学
臨床獣医学
先端獣医科学

寄附講座

焼酎学(鹿児島県酒造組合
連合会・鹿児島県)

附属教育研究施設

農場 演習林 動物病院

水産学部



水産学部は、鹿児島水産専門学校を母体として昭和24年に誕生しました。「海を恐れず、海を愛し、海を拓け」をモットーに、鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む海洋や陸水域をフィールドとし、水産資源の持続的生産とその合理的利用、水圏環境の保全、生活文化の創出の分野で、地域社会と国際社会に貢献する人材を育成することを教育の目的としています。食糧生産の確保と海洋環境の保全といった時代の要請に応えるため、高度で先端的な教育を受けた技術者を養成し、水産海洋科学の分野から鹿児島は勿論のこと、熱帯・亜熱帯水域の発展途上国で活躍できる、国際的視野を持った卒業生を送り出しています。平成15年には大学教育の分野では初めて、国際的な品質基準であるISO9001認証を取得しました。また、平成19年には、カリキュラム改革に伴い、講座を廃止し、教育分野による教員組織を形成しました。

学科等・教育分野

水産学科

水産生物・海洋学分野
養殖学分野
食品・資源利用学分野
漁業工学分野
水産経済学分野

水産教員養成課程

水産教員養成課程分野

附属教育研究施設

附属練習船かごしま丸(1,297ト)
附属練習船南星丸(175ト)
附属海洋資源環境教育研究センター
東町ステーション
食品・資源利用学実習工場
回流水槽実験室 鴨池海洋生産実験室

人文社会科学研究科

大学院人文社会科学研究科は、1998年、既に開設されていた法学研究科(79年設置)、人文科学研究科(86年設置)を発展的に解消して設立されました。現在は博士前期課程4専攻(法学専攻、経済社会システム専攻、人間環境文化論専攻、国際総合文化論専攻)および博士後期課程1専攻(地域政策科学専攻)からなっています。

本研究科では、各専門分野における高度な研究・教育を行うとともに、プロジェクト研究を中心とする地域に密着した実践的な研究に取り組んでいます。また、昼夜開講制による社会人学生の積極的な受け入れや、奄美サテライト教室(2004年奄美大島開設、2007年徳之島分室開設)を通じた離島地域での授業開講など、社会の修士号及び博士号取得のニーズに積極的に応えています。さらに、博士前期課程では中学校および高等学校教諭専修免許の資格を取得することができます。

課程・専攻

博士前期課程

法学 経済社会システム 人間環境文化論 国際総合文化論

博士後期課程

地域政策科学

教育学研究科

大学院教育学研究科は、教育学部を基礎に設置された研究科であり、学部卒業生や現職教員等社会人を対象に、広い視野に立って深く学術を修め、教育の諸分野に関する高度の専門性を養うとともに、現代の複雑な教育の諸問題に的確に対応できる人材を育成することを教育目標としています。学校教育専攻は、教育学コース、教育心理学コース、特別支援教育コースからなり、教育学、教育心理学及び障害児教育に関する専門的学識の修得に加え、現代教育の課題や教育の在り方について多角的に探求することをめざします。教科教育専攻は、国語教育専修、社会科教育専修、数学教育専修、理科教育専修、音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修、技術教育専修、家政教育専修、英語教育専修からなり、各教科に関する専門的学識や学際的学識を修め、教育・研究能力を高めることをめざします。なお、本研究科では、昼夜開講制を採用して現職教員等社会人の便宜を図るとともに、所定の単位を取得することによって各校種・教科の専修免許状が取得できるよう教育課程を編成しています。

課程・専攻

修士課程

学校教育専攻 教科教育専攻

理工学研究科

科学技術の高度化と多様化に対応して理工学系の学問と教育がますます専門化していく一方、新しい境界領域と学際領域が開拓され、科学技術の総合化が進んでいます。大学院理工学研究科では、このような学問の高度化と多様化に幅広く柔軟に対応し、次世代を開拓する技術者・研究者を養成します。また、自然科学の基礎分野の教育研究を広い視野のもとで行い、人間生活を取り巻く自然について総合的な知識を持ち、今日のさまざまな課題にも柔軟に対応できる人材の養成も目指しています。

博士前期課程には12専攻、博士後期課程には4専攻を設置し、基礎分野から応用分野、理学分野から工学分野の幅広い分野で世界最先端レベルの教育研究活動を提供しています。

また、博士前期課程修了者には修士の学位、博士後期課程修了者には博士の学位が授与されます。

課程・専攻・講座

博士前期課程

機械工学 電気電子工学 建築学 応用化学工学 海洋土木工学
情報工学 生体工学 ナノ構造先端材料工学 数理情報科学
物理科学 生命化学 地球環境科学

博士後期課程

物質生産工学 システム情報工学
ナノ構造先端材料工学
生命物質システム

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

保健学研究科

大学院保健学研究科は、保健学に関する高度な専門知識・技術をもつ専門職者並びに優れた教育や研究のできる指導・管理者及び離島や国際的な保健・医療に貢献できる人材を養成し、併せて教育研究の成果及び情報を社会に広く提供し貢献することを理念として、平成15年4月に博士課程前期、平成17年4月に博士課程後期が設置されました。

本研究科では、高度な専門知識・技術を身につけた専門職者、指導・管理者の育成、医療専門職としての質の高い教育・研究者の育成、学生の能力開発に効果的な教育や独自の研究のできる人材の育成、地域の保健・医療において指導・管理者として実践できる人材の育成、離島・へき地の保健・医療に指導者として実践できる人材の育成、国際保健医療活動を推進できる人材の育成などを教育目標としています。

課程・領域と分野、学位

博士前期課程

看護学領域

基礎看護・地域看護学分野

臨床看護学分野

修士(看護学)

理学療法・作業療法学領域

理学療法学分野

作業療法学分野

修士(保健学)

博士後期課程

保健看護学分野

神経運動障害基礎学分野

臨床精神神経障害学分野

博士(保健学)

農学研究科

大学院農学研究科は昭和41年に開設され、現在、生物生産学専攻、生物資源化学専攻、および生物環境学専攻の3専攻が設置されています。わが国有数の食料生産基地を抱え、かつ温帯から亜熱帯に分布する多様な生物資源と自然環境などを生かし、自然環境に調和した食料生産技術の開発、生物機能の解明と応用、自然生態系の保全と修復、農山村社会の活性化などに関する研究に取り組んでいます。また、農林・食産業を取り巻く状況を把握し、広い視野と倫理観を持って科学技術を応用し、豊かな専門性と実践力・想像力、地域が抱える特色や課題に積極的に取り組む高度専門技術者の養成、さらに博士後期課程へ進学する発展的研究者を養成しています。バイオテクノロジーや先端的技術を導入し、農林食産業分野における新技術の開発の教育研究を行っています。

課程・専攻

修士課程

生物生産学

生物資源化学

生物環境学

水産学研究科

大学院水産学研究科では、水産生物・海洋学、養殖学、食品・資源利用学、漁業工学、水産経済学の分野で高度技術者・研究者を養成するための研究と教育が行われており、修了者は各地の水産試験場や民間の研究機関などで専門的な仕事についています。中国、東南アジアや中東、アフリカ、中南米からの留学生も多く、留学生の多い講義の中では英語が用いられることもあります。JSPSのプロジェクトとしてフィリピン大学ピサヤス校とのネガティブインパクト(原油流出)に関する研究や大学院生をマレーシアやインドネシアに派遣するITPプロジェクトも行われています。この修士課程を修了した大学院生の中には、引き続き連合大学院農学研究科(博士課程)に進学する者も多数います。

課程・専攻・講座

修士課程

水産学専攻

医歯学総合研究科

大学院医歯学総合研究科は、多様な社会的要請に迅速に対応し、高度な教育と先端的研究を効率的に実施、解決するために、1.生命科学領域の教育研究のリーダーの育成、2.地域の特性を生かした生命医療科学領域の教育研究拠点の創出、3.専門性を備えながら医の倫理観を備えた生命医療人の育成を目標とし、疾病の予防と治療を使命とする医学と歯学が有機的に結合され、より柔軟で広範な生命医療科学の発展が期待できる大学院組織として、平成15年4月に博士課程、平成16年4月には修士課程(医科学専攻)が設置されました。

また、平成19年4月には、離島へき地医療に貢献できる医療人の育成を目的とする離島へき地医療人育成センターが設置されました。



桜ヶ丘キャンパス全景

課程・専攻・講座

博士課程

健康科学専攻 人間環境学 社会・行動医学 感染防御学 発生発達教育学 国際島嶼医療学(プロジェクト講座) 宇宙環境医学(連携講座)	先進治療科学専攻 神経病学 感覚器病学 運動機能修復学 循環器・呼吸器病学 生体機能制御学 顎顔面機能再建学 腫瘍学 再生・再建移植学(プロジェクト講座)
---	---

修士課程

医科学専攻

寄附講座

臨床予防医療(新日本科学)
医療関節材料開発(日本メディカルマテリアル)
心筋症病態制御(ジェンザイム・ジャパン)

附属教育研究施設

難治ウイルス病態制御研究センター

司法政策研究科

大学院司法政策研究科(法科大学院)は、平成16年4月設置の3年制専門職大学院です。司法過疎と呼ばれる南九州に位置する法科大学院として、これからの司法の在り方を構想、実現していく活動的な法曹を養成することを目的としています。修了者には法務博士の学位と新司法試験の受験資格が授与されます。学生定員30名、専任教員16名(兼任教員10名、兼任教員22名)という徹底した少人数教育を行い、法律実務家をめざす明確な問題意識や関心を育てつつ、21世紀の我が国社会を支える法曹としての能力を鍛えます。



課程・専攻

専門職学位課程(法務博士)

法曹実務

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

臨床心理学研究科

大学院臨床心理学研究科は、高度な臨床心理士養成を目的とする日本で初めての独立研究科として、平成19年4月に設置認可された専門職大学院です。

本研究科の教育目的は、(1)個別支援、地域支援、危機介入支援のできる人材育成、(2)地域文化を視野に入れた心理臨床ができる人材育成にあります。この目的を達成するために、国際水準をキャッチアップした実習時間(1,380時間)と個別・少人数指導による教育課程を設定しています。

平成19年7月には国際的な視野に立った教育・研究を推進するために、米国からPacific Graduate School of PsychologyのLarry Beutler教授(米国臨床心理学会及び心理療学会前会長)ほかを招聘し、本学において臨床心理学に関する国際シンポジウムを開催しました。



課程・専攻

専門職学位課程(臨床心理修士)
臨床心理学

連合農学研究科

大学院連合農学研究科は佐賀大学、琉球大学、鹿児島大学の各農学研究科及び水産学研究科の修士課程の連携・協力の基に、それぞれの研究科の特徴と地域特性を生かした農学・水産学系の博士課程の大学院です。先端の生命科学から農・水産学の基本となる生命資源の利用と食糧生産、環境保全など社会貢献、国際貢献を主眼として教育・研究を行っています。資源利用化学連合講座には先端バイオテクノロジーの教育・研究を行う連携大学院(タカラバイオ(株))を設置しています。博士論文提出後には農学・水産学・学術のいずれかの博士号が付与され、学位付与者は、教育職及び研究職など幅広い分野で活躍しています。



課程・専攻・連合講座

(注)連合農学研究科は、3大学(佐賀、鹿児島、琉球)で構成

博士課程

生物生産科学専攻
植物生産学、動物生産学
農林資源・経営学
熱帯資源生物学

生物資源利用科学専攻
応用生物化学
資源利用化学
生物機能開発学

生物環境保全科学専攻
生物環境保護学
生物生産工学

水産資源科学専攻
海洋生産環境学
水産資源利用学

山口大学大学院連合獣医学研究科

山口大学大学院連合獣医学研究科は、平成2年4月に鹿児島大学、鳥取大学、山口大学及び宮崎大学が連合して設置された修業年限4年の博士課程で、基幹校は山口大学です。

本研究科は、1専攻(獣医学専攻)で、3連合講座から成り、学生の入学定員は12名であり、創造性豊かな研究者や高度の専門的知識と能力を有する人材を養成しています。学生1人につき、主指導教員1人、副指導教員2人が指導に当たりますが、他大学の教員並びに学生相互の討論を通して、自己を高めると同時に相互の親睦と連帯感の形成に役立っています。



課程・専攻・連合講座

博士課程

獣医学専攻
基礎獣医学 病態・予防獣医学 臨床獣医学

(注)山口大学大学院連合獣医学研究科は4大学(鳥取、山口、宮崎、鹿児島)で構成

教育学部附属学校

附属幼稚園

明治12年4月創立の附属幼稚園は、全国で2番目に古い歴史をもつ幼稚園です。今年度は、3歳児19人、4歳児35人、5歳児34人、計3学級88人が在籍しています。研究主題に「他とよりよくかわることを通して、自分らしさを発揮できる子どもの育成Ⅱ」を掲げて、本県の幼稚園教育の向上の役割を果たしつつ、学部と連携し研究を深めるとともに、親と子が共に育つ場としての幼稚園をめざしています。



附属小学校

附属小学校は、児童数985名(学級数27)で国立大学法人の附属小学校の中でも全国一の規模を誇る学校です。小学校教育に関する理論的・実践的な研究の推進、教育実習生の指導の充実、研究や実践の公開による本県の小学校教育向上への貢献という3つの使命を持ち、複式教育や英会話における先進的な研究、実践でも高い評価を得ています。



附属中学校

附属中学校は、創立58周年を迎え、600名の生徒が在籍しています。本校は、学部と一体となり中学校教育に関する理論的・実践的研究を行う。学部の計画に従い、学生の教育実習の場としてその指導に当たる。研究会、共同研究等の教育交流を通して、現職教育の振興に寄与する。という三つの使命を果たすべく日々前進する学校です。



附属特別支援学校

附属特別支援学校は昭和55年に開校し、現在、知的障害を主な障害とする小学部・中学部・高等部の児童生徒61名が在籍しています。特別支援教育の理念の下、子どもたちの豊かな生活を目指し、大学をはじめとする関係機関との連携を図りながら一人ひとりのニーズに応じた、きめ細やかな教育実践を積み重ね、地域の特別支援教育のセンター的な役割も担っています。



はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

医学部・歯学部附属病院

医学部・歯学部附属病院は、医学部と歯学部の両病院を統合し、診療科を疾患機能別の17にセンター化するなど組織の見直しを図り、これまで以上に、患者さん本位の医療の推進と高度医療の開発提供、効率的・機能的な病院運営を実現し、更なる地域医療における役割を充実させることを目指し、平成15年10月1日から「鹿児島大学病院」としてスタートしました。

診療センター	部門科	中央診療施設等
循環器センター	心臓血管内科 心臓血管外科	検査部 手術部
消化器センター	消化器内科 消化器外科	放射線部 救急部
脳・神経センター	神経内科 脳神経外科	集中治療部 輸血部
呼吸器・ストレスケアセンター	呼吸器内科 呼吸器外科 心身医療科	周産母子部 全身管理歯科治療部 血液浄化療法部
腎臓・泌尿器センター	腎臓内科 泌尿器科	病理部 光学医療診療部
血液・内分泌・糖尿病センター	血液・膠原病内科 糖尿病・内分泌内科 乳腺・内分泌外科	歯科技工室 リハビリテーション部
メンタルケアセンター	神経科精神科	中央採液室 臨床心理室
小児診療センター	小児科 小児外科	歯科総合診療部 遺伝カウンセリング室
女性診療センター	産科、婦人科	外来化学療法室 医療器材管理部
整形・運動機能センター	整形外科・リウマチ外科	医療情報部 病歴管理室
感覚器センター	皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	治験管理部 卒後臨床研修センター
放射線診療センター	放射線科 顎顔面放射線科	医療環境安全部 地域医療連携センター
麻酔全身管理センター	麻酔科 歯科麻酔科	医療相談室 腫瘍センター
リハビリテーションセンター	リハビリテーション科	
発達系歯科センター	口腔保健科 矯正歯科 小児歯科	薬 剤 部
成人系歯科センター	保存科 歯周病科 冠・ブリッジ科 義歯補綴科	看 護 部
口腔顎顔面センター	口腔外科 口腔顎顔面外科	臨床技術部
		事 務 部

医学部・歯学部附属病院患者数

(平成19年度)

医科部門				歯科部門			
診療科名	患者数		病床数	診療科名	患者数		病床数
	入院	外来			入院	外来	
内科	50,766	72,749	145	口腔保健科	-	6,428	40
神経科精神科	12,284	14,879	45	保存科	-	10,048	
小児科	12,295	10,187	47	歯周病科	-	15,658	
外科	40,022	15,162	106	冠・ブリッジ科	-	12,771	
脳神経外科	10,127	5,252	28	義歯補綴科	-	12,919	
整形外科・リウマチ外科	17,789	12,890	50	口腔外科	4,898	8,225	
皮膚科	9,614	14,728	30	口腔顎顔面外科	6,033	10,218	
泌尿器科	9,590	9,366	29	矯正歯科	-	7,361	
眼科	12,247	21,762	39	小児歯科	65	7,190	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	9,559	13,579	34	顎顔面放射線科	-	4,003	
放射線科	8,726	6,757	23	歯科麻酔科	-	725	
産婦人科	16,468	13,530	52	全身管理歯科治療部	-	791	
麻酔科	582	4,159	4	歯科総合診療部	-	4,371	
小児外科	2,680	2,790	11	計	10,996	100,708	
心身医療科	1,685	4,944	5			40	
リハビリテーション科	15,826	9,182	50				
放射線治療室	-	-	3				
集中治療室	-	-	8				
共通	-	-	26				
計	230,260	231,916	735				

(注) ()は再掲

共通 内訳(結核13床、感染7床、特別室6床)

内科...心臓血管内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、

血液・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科

外科...心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科

産婦人科...産科、婦人科



医科診療棟



歯科診療棟



霧島リハビリテーションセンター

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

附属図書館

附属図書館は、中央図書館(郡元地区)、桜ヶ丘分館(桜ヶ丘地区)及び水産学部分館(下荒田地区)の3館で組織されており、教育・研究に必要な学術資料を広い分野にわたり収集し利用に供しています。文献情報データベース、電子ジャーナル等の電子情報資料の整備充実にも努めています。3館とも、学生教職員の利用はもとより、地域住民に対しても開放されています。

また、島津久光及び玉里島津家の旧蔵書である「玉里文庫」等の貴重書を所蔵しており、毎年公開展示を実施しています。

【中央図書館】

開館時間

月～金曜日	土・日曜日
8:30～21:30	10:00～18:00

休館日

国民の祝日
年末年始等(12月27日～1月3日)

施設

鉄筋地上5階地下2階建
(平成8年12月竣工)

延床面積	12,697m ²
閲覧スペース	4,876m ²
サービススペース	1,808m ²
収蔵スペース	2,359m ²
事務室等	775m ²
その他	2,879m ²
総座席数	940席
収容可能冊数	945,000冊



【桜ヶ丘分館】

開館時間

月～金曜日	土・日曜日
8:30～21:00	10:00～18:00

休館日

国民の祝日
年末年始等(12月27日～1月3日)

施設

鉄筋3階建
(昭和52年4月竣工、昭和56年5月増築)

延床面積	1,980m ²
閲覧スペース	1,251m ²
サービススペース	159m ²
収蔵スペース	189m ²
事務室等	238m ²
その他	143m ²
総座席数	131席
収容可能冊数	192,000冊



【水産学部分館】

開館時間

月～金曜日	土曜日
8:30～20:00	10:00～17:00

休館日

日曜日、国民の祝日
年末年始等(12月27日～1月3日)

施設

鉄筋2階建
(昭和45年2月竣工)

延床面積	849m ²
閲覧スペース	307m ²
サービススペース	47m ²
収蔵スペース	248m ²
事務室等	113m ²
その他	134m ²
総座席数	52席
収容可能冊数	41,000冊



【平成19年度利用状況】

区 分	開館日数	総 入 館 者 数				
		平 日			土・日 及び祝日	合 計
		17:00まで	17:00以降	計		
中央図書館	312	259,785	74,873	334,658	50,413	385,071
桜ヶ丘分館	344	73,749	32,266	106,015	16,201	122,216
水産学部分館	299	25,224	5,180	30,404	2,805	33,209
合 計		358,758	112,319	471,077	69,419	540,496

【蔵 書】

図書(冊)

(平成20年4月1日現在)

区 分	総 記	哲 学	歴 史	社会科学	自然科学	技 術	産 業	芸 術	言 語	文 学	合 計	
和 漢 書	中央図書館	64,748	42,995	76,603	203,204	108,708	69,179	54,314	28,839	26,829	69,354	744,773
	桜ヶ丘分館	985	1,811	686	5,230	90,817	1,172	367	614	1,709	1,350	104,741
	水産学部分館	1,694	409	1,378	9,593	11,788	6,408	12,575	785	1,092	619	46,341
	小 計	67,427	45,215	78,667	218,027	211,313	76,759	67,256	30,238	29,630	71,323	895,855
洋 書	中央図書館	15,494	18,817	16,717	52,439	82,949	19,244	19,592	4,503	13,456	32,878	276,089
	桜ヶ丘分館	762	351	114	659	76,115	94	74	77	427	424	79,097
	水産学部分館	454	100	235	704	5,520	2,191	3,948	229	275	65	13,721
	小 計	16,710	19,268	17,066	53,802	164,584	21,529	23,614	4,809	14,158	33,367	368,907
合 計	84,137	64,483	95,733	271,829	375,897	98,288	90,870	35,047	43,788	104,690	1,264,762	

雑誌(種類数)

区 分	和雑誌	洋雑誌	合 計
中央図書館	16,607	7,639	24,246
桜ヶ丘分館	3,447	2,229	5,676
水産学部分館	2,254	1,064	3,318
合 計	22,308	10,932	33,240



玉里文庫所蔵資料

【貴重書・古書籍等コレクション】

文庫名	内 容 等					
玉里文庫	島津久光及び玉里島津家の旧蔵書 久光の直筆本、島津家編輯本、和漢書の写本類、薩摩藩関係史誌、幕末洋学関係翻訳書の写本等 18,730冊					
岩元文庫	旧制第一高等学校教授であった岩元禎氏の旧蔵書 漢籍と文学・哲学関係の洋書 漢籍4,515冊、洋書826冊					
松本文庫	旧制第八高等学校漢文学教授であった松本亦一氏の旧蔵書 漢籍と和書、医書を多く含む 2,186冊					
小北文庫	旧制鹿児島高等農林学校長小出満二氏が渡豪中に実業家北村寅之助氏の助力を得て収集し、後に同校図書館に寄贈したオーストラリア、太平洋諸島関係洋書 686冊					
小野文庫	元法政大学教授小野武夫博士の旧蔵書 農業経済、農業史、地方史を中心とするコレクション 4,127冊					
鹿児島県地券台帳	明治15年鹿児島県における地券発行原簿のコレクション 出水、川辺、揖宿、肝属、大隅、熊本、馭謨、臼杵の各郡が比較的まとまっている。附属資料として共有地台帳、地価修正一筆限帳等が含まれる 2,944冊					
諸家文書	市来家文書	105点	川田家文書	116点	木脇家文書	18点
	山田家文書	30点	寺尾家文書	387点	伊集院家文書	17点
	有馬家文書	61点	志々目家文書	37点	長野家文書	141点
	斑目家文書	17点	伊勢家文書	695点	新納家文書	122点
	肝付家文書	65冊	八田家文書	2巻(13点)		

はじめに

組
織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財
務

キャンパス

保健管理センター

保健管理センターは、学生および教職員の心身の健康の保持並びにその増進を図ることを目的とし、保健管理に関する実施計画の立案等を行っている。

センターでは、専任の医師3名、看護師および保健師各1名のほか、学医として学内の各科の専門医(内科、精神神経科、整形外科、眼科、耳鼻科、婦人科、歯科)による健康相談業務を行い、さらにカウンセラーとして法文学部と教育学部の心理学の教員および非常勤の臨床心理士が心理相談やカウンセリングにあっている。

また、禁煙サポートプログラムの開発、定期健康診断の予約システムの確立や診断結果のデータのデジタル化およびその結果解析など、調査研究も活発に行っている。

【業務内容】

- 定期健康診断並びに臨時健康診断と事後指導
- 心理相談並びに学生相談
- 一般診療、急性疾患に対する短期的投薬、他医療施設への紹介・受診指導
- 健康診断証明書発行
- 健康教育活動(学生・教職員への健康啓発講演会開催など)
- 保健管理に関する調査研究
- 環境衛生および伝染病予防に関する指導
- 保健管理センター年報の発行
- 禁煙サポート
- 救急蘇生講習会



多島圏研究センター

多島圏研究センターでは、アジア・太平洋の島嶼から我が国の南西諸島までの多島域において、地域の人々の生活や文化についての学際的な調査研究を学内外の協力者と連携協力しながら実施し、学術の国際交流と地域貢献を目的とした活動を行っている。得られた結果は共通教育やシンポジウム・フォーラムなどで学内外の教育・研究に生かしている。



シンポジウム「閩牛ネットワークと周辺 周辺」(2007.10)

留学生センター

留学生センターは、外国人留学生及び海外留学を希望する本学の学生に、必要な教育及び指導助言等を行うことにより、本学における国際交流の推進に寄与することを目的として、平成12年4月に設置された。この目的のために、外国人留学生に対する、日本語日本文化教育、学習カウンセリング、地域社会との交流推進や、海外留学を希望する学生への情報提供などを行っている。



総合研究博物館

総合研究博物館は、学内の貴重な学術資料を一元的に整理・管理・展示公開して研究や教育に効果的に利用し、さらに広く一般社会へ情報を発信することを目的として平成13年4月に設置された。平成16年5月には常設展示室を開設し、学術資料や研究の成果を一般に広く公開している。毎年、秋には特別展を開催し、年に数回市民講座・研究交流会などを行っている。そのほか、News Letterの発行など学内外に向けた活動を行っている。学術標本・資料は、これまでに学内外から110件を超える使用申請があり、その一部は学術論文として報告されている。これ以外にも学内の学生の卒論、修論、博士論文等に活用されている。

また、常設展示室の建物は、平成18年10月18日付けで国の登録有形文化財に登録された。昭和3(1928)年に建てられた展示室は、鹿児島に現存する初期の鉄筋コンクリートの建物で、学校施設としても歴史的な価値を持っていることが評価された。常設展示室には600点ほどの標本・資料が展示され、一般市民に公開され、学内の教育に利用されている。



総合研究博物館常設展示室



標本作成指導を受ける公開講座の参加者

学術情報基盤センター

学術情報基盤センターは、鹿児島大学の情報基盤を担う中核的組織として、教育研究用計算機システム及びキャンパス情報ネットワークの運用管理、大学全体の情報セキュリティ対策支援、情報システムの企画・開発・運用、IT相談等、鹿児島大学の教育研究全般の情報化支援に積極的に取り組んでいる。

センターには、情報メディア基盤部門、学術情報処理研究部門、情報システム開発部門の3部門がおかれ、それぞれの部門に属する専任教員が情報通信技術に関する研究開発、情報通信技術を生かした地域との連携、マルチメディア教材の研究開発、情報教育支援体制の整備による学内部局との連携、学術情報データの蓄積と発信に関する研究開発を推進すると共に、学内の教育研究の高度情報化に指導的な役割を果たしている。



生涯学習教育研究センター

生涯学習教育研究センターは、大学が蓄積する知的資源との関係から生涯学習を研究している。また各地域の特性に基づく生涯学習の課題と方法を、地域のニーズに従って、公開講座、セミナー、シンポジウムを提供し、指導者の養成も含め地域に貢献するセンターである。そのほか公開授業による大学開放も推進している。

(URL:<http://www.life.kagoshima-u.ac.jp>)



公開講座「地域で自然学校を作ろう」

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

教育センター(共通教育)

教育センターは、平成15年10月に設置された。その任務は「鹿児島大学の教育の充実・発展」と「共通教育の実施」である。

共通教育は、旧制第七高等学校時代以来、連続と引き継がれてきた学士課程教育で、幅広い知識・教養・技能等を有するとともに、進取の精神、自主自律の精神に富み、深い歴史感覚、鋭い現実感覚、高い公共意識に裏付けられた判断力と構想力を有する個性豊かな人材の育成を目指している。どの学部の学生にも必要な大学教育の大きな柱の一つとなっている。

教育センターは、共通教育(基礎教育を含む)を統括・推進するだけでなく、鹿児島大学の教育の充実・発展のために、高等教育の研究開発、外国語教育の推進およびファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を全学的に進めることを目的としている。

教育センターの組織構成

【共通教育企画実施部】

共通教育科目(教養科目、情報科学科目、外国語科目、体育・健康科目、日本語・日本事情科目)と、基礎教育科目の研究開発・実施

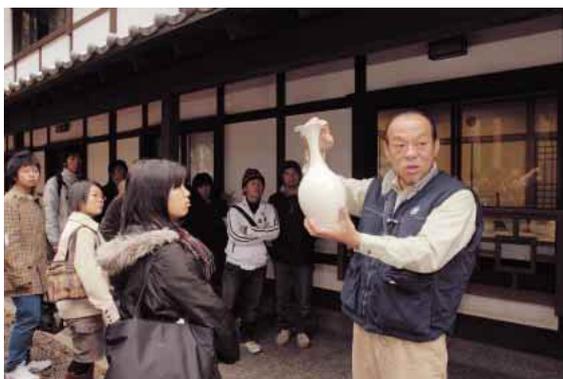
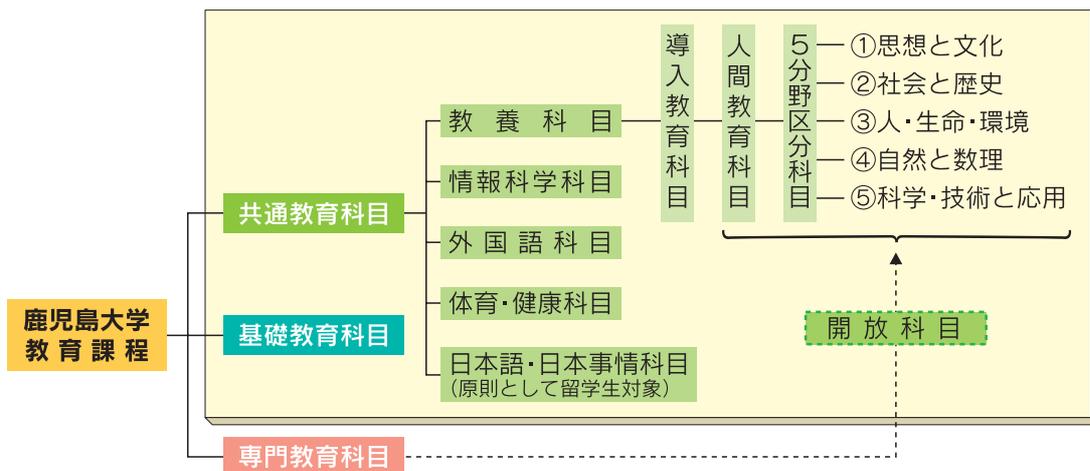
【高等教育研究開発部】

高等教育の教育方法・教育支援・FDの研究開発、授業改善・教育評価・自己点検などの研究開発

【外国語教育推進部】

全学の外国語教育の研究・改善・提言およびカリキュラム開発

鹿児島大学教育課程 (大きな枠内が教育センターの教育)



鹿児島探訪 - 文化 -



稲盛アカデミー

平成17年4月に設置した稲盛経営技術アカデミーは、平成20年4月に稲盛アカデミーに改組した。同アカデミーは、京セラ(株)及び本学工学部の卒業生である京セラ(株)名誉会長の稲盛和夫氏からの寄附金を運用し、本学学生に対し、倫理、哲学及びその他人間教育の基本的事項に関する教育科目や経営哲学に関する教育科目を共通教育に提供するとともに、地域社会及び国際社会との連携を図ることを目的としている。



稲盛和夫氏

部門

【人間教育部門】

倫理、哲学及びその他人間教育に関する授業科目を開発し、共通教育に提供する。

【経営教育部門】

経営哲学、経営管理に関する授業科目を開発し、共通教育に提供する。

【地域・国際連携部門】

地域社会及び国際社会との連携

開講科目一覧 (平成21年度開講予定を含む)

稲盛セミナー	障害児保健学概論	アメリカのビジネスと文化
ベトナム農村体験学習	地球をつくった人々	持続可能な発展のための教育
職業人と実践倫理	大野ESD自然体験	リーダーシップと未来
国際協力農業体験講座	薩摩とカルフォルニアセミナー	海が運んだ中世・近世の鹿児島
教育学概論 人間力を教育から	経営哲学	南北問題と世界の未来
こころの進化	道德教育	技術と社会

フロンティアサイエンス研究推進センター

フロンティアサイエンス研究推進センターは、学内の教育研究活動を支える教育研究支援部門と、鹿児島大学における重点的研究課題を推進する生命科学研究推進部門とから構成されている。

教育研究支援部門

機器分析施設は、大型・高性能機器の計画的導入および集中管理による各種計測・分析機器の有効かつ円滑な共同利用を図っている。遺伝子実験施設は、遺伝子に関連する教育研究及び安全管理をおこない、物理的封じ込めP3レベルまでの実験室や放射性同位元素(RI)を使用できる各種実験室等も整備されている。動物実験施設は、実験動物及び動物実験に関する教育研究、実験動物の品質管理及び安全管理を行い、動物実験の適正化を図っている。アイソトープ総合実験施設は、放射性同位元素及び放射線を利用する教育研究を推進するとともに、本学の放射線施設の安全管理を担っている。

生命科学研究推進部門

本学における重点的研究課題を遂行するために、三つの研究分野が設置されている。これらの研究分野は、種々の先端医療の開発を目的としたトランスレーショナルリサーチを推進している。その中でも、医用ミニプタを用い、再生移植医療におけるドナーの臓器不足の解決をめざす『異種移植』の研究が重点課題として推進されている。



遺伝子実験施設

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

産学官連携推進機構

産学官連携部門

鹿児島大学で生まれた研究シーズと社会ニーズのマッチングを図り、民間企業等との共同研究等を通じた研究成果の社会還元、技術移転を推進している。

産学共同研究のコーディネート他、地域産業界等からの技術相談への対応、公募事業等の獲得支援、自治体と共同した産学官プロジェクトの企画・立案などを行い、また大学の研究成果等の情報発信や、産学官交流活動を支援する。

知的財産部門

教育研究活動の中で生まれた発明等の知的財産を一元的に取り扱うとともに戦略的な推進を図っている。このため、各学部・研究科と連携して知的財産の創出、権利化及び活用を積極的に行い、更に、研究者及び学生に対する教育啓発活動を展開し、知的財産を通じた産学官連携活動により大学の社会貢献に寄与することを目指している。

ベンチャービジネス部門

ベンチャー企業や産学官連携事業のためのインキュベーション機能を有する教育研究施設。インキュベーションプロジェクトとしては、ナノバイオ関連及び社会科学関連の研究テーマも受け入れている。

(URL:<http://www.vbl.kagoshima-u.ac.jp/>)

ベンチャー創業時に必要な実践ビジネス教育プログラムを大学院科目として、開講している。

管理部門

機構の学内外総合窓口、機構の会議及び各種事務業務等を担う管理部門を置き、研究国際部研究協力課が担当している。



鹿児島大学知財啓発シンポジウム



産学官連携推進機構棟

埋蔵文化財調査室

埋蔵文化財調査室では、学内の施設整備に伴うキャンパス内遺跡の発掘調査を行い、そこから得られた埋蔵文化財の整理、研究、報告書作成を行っており、調査時には、一般市民向けの体験発掘や、遺跡見学会を開催している。



遺跡説明会

国際戦略本部

国際戦略本部(KUCIP:Kagoshima University Center for International Planning)は、本学の教育研究の国際交流及び研究成果を基盤とした国際社会への貢献を戦略的に推進することにより、教育研究の国際的通用性の向上を図ることを目的とした中枢的組織として、平成17年9月に設置された。

KUCIPは、理事(研究・社会連携担当)を本部長とし、専任職員2名及び学内の兼任職員を配置しており、組織的国際展開への求心力を高めるための国際戦略の策定とそれに必要なプログラム事業遂行のため、次の機能を有している。

- 教育研究に関する国際戦略の策定
- 教育研究の国際展開の企画・支援及び手法の開発
- 国際開発協力事業の企画・支援
- 世界の学術動向に関する調査
- 国際機関、海外大学等との連携強化
- 職員の国際業務のスキルアップ

平成18年度から4年間の計画で、国際戦略本部の主導により、本学の置かれた地域特性を活かした分野に関する国際連携教育プログラム開発を目的とした「水圏環境・食資源・島嶼医療分野で国際的に活躍できる高度専門能力及び技術経営能力を備えた人材の養成」プロジェクトを実施している。

また、これらの事業を推進するにあたり、適切な助言を得るため、国際経験豊富な学外有識者を「国際戦略アドバイザー」として委嘱している。



ICPH2007サテライト国際シンポジウムかごしまーアジアにおける食と健康ー

鹿児島大学東京リエゾンオフィス

鹿児島大学東京リエゾンオフィスは、首都圏における活動、情報の収集及び発信等を活発に行うため、平成16年12月に東京都港区芝浦のキャンパス・イノベーションセンター(CIC)内に設置された。

主に、鹿児島大学の各種情報(大学概要・広報誌等)の提供、入試情報(各学部・研究科案内及び募集要項等)の提供、首都圏における学生の就職支援及び企業との技術相談・共同研究等に関する連絡調整、各同窓会との連絡調整を行っている。

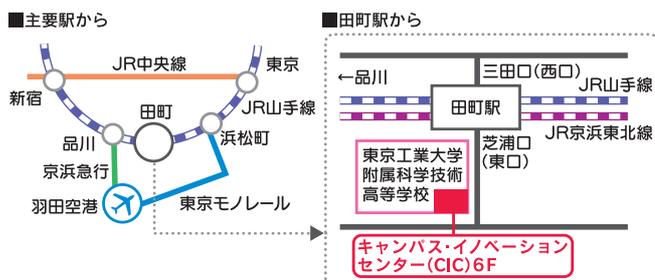
交通アクセス

1.所在地

〒108 0023 東京都港区芝浦三丁目3番6号
キャンパス・イノベーションセンター(CIC)607号室
☎03 5440 9099(FAX兼用) <CIC受付: ☎03 5440 9020 >

2.アクセス

JR田町駅 芝浦口(東口)から徒歩1分



オフィスの様子



キャンパス・イノベーションセンター(CIC)

インフォメーションセンター

インフォメーションセンターは、一般市民、受験生や企業の方々との交流拠点として平成19年4月、正門に付設された。鹿児島大学の教育・研究・社会貢献活動の概要の紹介、各種イベント等の案内、研究成果物の展示を行っている。スタッフが常駐し、市民が利用できる施設の案内、広報誌等の配布、入試問題の閲覧、大学オリジナルグッズの販売を行うほか、大学紹介DVD等の視聴が可能。

開館：月～金曜日(祝祭日等除く) 9時00分～17時30分



主な販売物

大学オリジナルグッズ(ボールペン、キーホルダー、玉里文庫クリアファイル) びわ茶(ペットボトル、ティーバッグ、サプリメント)、附属農場生産物

主な展示物

大学ブランド焼酎(『きばいやんせ』『春秋謳歌』『天翔宙』) 水産学部ツナ缶詰、総合研究博物館給葉書



大学オリジナルグッズ



びわ茶



大学ブランド焼酎

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス



北辰通り



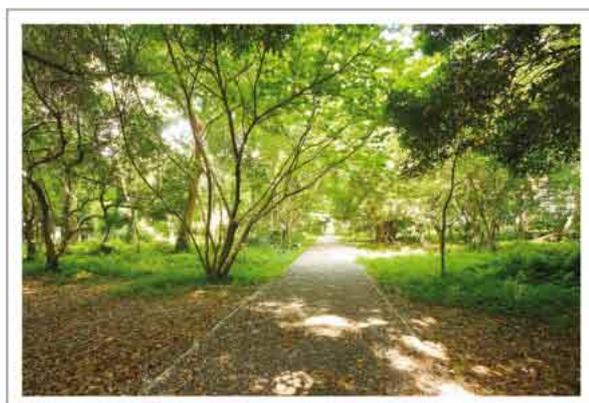
焼酎学講座研究棟(北辰蔵)



イチョウ並木通り



共通教育棟前



植物園

入学定員・現員数

学 部

(平成20年5月1日現在)

学 部	学科・課程	入学定員	3年次編入学員	現 員						
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
法文学部	法 政 策 学 科	95	10	104 (43)	98 (46)	109 (54)	146 (50)			457 (193)
	経 済 情 報 学 科	145		152 (76)	157 (74)	166 (84)	202 (87)			677 (321)
	人 文 学 科	155		159 (124)	165 (124)	173 (139)	216 (153)			713 (540)
	小 計	395		415 (243)	420 (244)	448 (277)	564 (290)			1,847 (1,054)
教育学部	学校教育教員養成課程	225		237 (110)	231 (118)	237 (125)	281 (129)			986 (482)
	特別支援教育教員養成課程	15		15 (8)	16 (11)					31 (19)
	養護学校教員養成課程					18 (16)	15 (9)			33 (25)
	生涯教育総合課程	35		38 (26)	39 (25)	42 (25)	56 (34)			175 (110)
	小 計	275		290 (144)	286 (154)	297 (166)	352 (172)			1,225 (636)
理学部	数理情報科学科	40		45 (9)	40 (6)	57 (6)	30 (4)			172 (25)
	物理科学科	45		47 (6)	44 (6)	60 (7)	53 (6)			204 (25)
	生命化学科	50		50 (25)	50 (23)	61 (27)	51 (22)			212 (97)
	地球環境科学科	50		50 (27)	53 (21)	64 (22)	60 (29)			227 (99)
	小 計	185		192 (67)	187 (56)	242 (62)	194 (61)			815 (246)
医学部	医 学 科	85	10	85 (34)	93 (27)	106 (37)	97 (31)	96 (32)	101 (36)	578 (197)
	保 健 学 科	120	20	120 (90)	120 (86)	137 (94)	135 (100)			512 (370)
	小 計	205	30	205 (124)	213 (113)	243 (131)	232 (131)	96 (32)	101 (36)	1,090 (567)
歯学部	歯 学 科	55		58 (20)	61 (25)	50 (21)	55 (12)	49 (23)	58 (17)	331 (118)
工学部	機 械 工 学 科	94	10	110 (3)	117 (3)	101 (2)	99 (5)			427 (13)
	電 気 電 子 工 学 科	78		91 (7)	110 (2)	98 (3)	76 (8)			375 (20)
	建 築 学 科	55		69 (22)	58 (17)	66 (16)	63 (20)			256 (75)
	応用化学工学科	60		64 (15)	63 (16)	76 (13)	86 (14)			289 (58)
	海洋土木工学科	48		56 (7)	50 (7)	58 (5)	65 (7)			229 (26)
	情 報 工 学 科	60		79 (7)	75 (11)	61 (4)	66 (8)			281 (30)
	生 体 工 学 科	60		69 (26)	79 (23)	68 (20)	81 (29)			297 (98)
	小 計	455		538 (87)	552 (79)	528 (63)	536 (91)			2,154 (320)
農学部	生物生産学科	80		83 (35)	80 (42)	92 (37)	100 (42)			355 (156)
	生物資源化学科	60		64 (27)	59 (30)	71 (35)	77 (33)			271 (125)
	生物環境学科	65		68 (22)	71 (14)	64 (24)	83 (26)			286 (86)
	獣 医 学 科	30		31 (14)	32 (13)	32 (12)	33 (14)	34 (16)	38 (17)	200 (86)
	小 計	235		246 (98)	242 (99)	259 (108)	293 (115)	34 (16)	38 (17)	1,112 (453)
水産学部	水 産 学 科	130		135 (41)	138 (31)	133 (34)	157 (33)			563 (139)
	水産教員養成課程	10		10 (2)	9 (3)	14 (5)	16 (3)			49 (13)
	小 計	140		145 (43)	147 (34)	147 (39)	173 (36)			612 (152)
合 計	1,945	50	2,089 (826)	2,108 (804)	2,214 (867)	2,399 (908)	179 (71)	197 (70)	9,186 (3,546)	

- (注)1. ()は女子で内数。
 2. 現員には外国人留学生を含む。
 3. 医学部医学科の編入学定員は2年次後期の編入学定員。
 4. 教育学部養護学校教員養成課程は平成19年度より募集停止。

<東京海洋大学水産専攻科>

入学定員	現 員
10	4

- (注)1. 水産学部の学生は連携により東京海洋大学水産専攻科に進学することができる。
 2. この専攻科を修了した者は、海技士として船舶運航に従事するために必要な資格を得ることができる。

はじめに

組 織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財 務

キャンパス

大学院

(平成20年5月1日現在)

研究科	入学定員	現 員								
		修士課程(博士前期)			博士課程(博士後期)又は専門職学位課程					合 計
		1 年	2 年	計	1 年	2 年	3 年	4 年	計	
人文社会科学研究科	28	27 (13)	46 (19)	73 (32)						73 (32)
	6				7 (3)	7 (3)	12 (1)			26 (7)
教育学研究科	38	47 (17)	39 (18)	86 (35)						86 (35)
保健学研究科	22	25 (11)	21 (10)	46 (21)						46 (21)
	6				5 (4)	6 (5)	12 (6)			23 (15)
理工学研究科	216	294 (38)	299 (41)	593 (79)						593 (79)
	34				23 (4)	27 (4)	40 (6)			90 (14)
農学研究科	69	69 (23)	76 (18)	145 (41)						145 (41)
水産学研究科	32	30 (5)	32 (7)	62 (12)						62 (12)
医歯学総合研究科	20	22 (11)	20 (11)	42 (22)						42 (22)
	94				59 (17)	59 (19)	98 (29)	153 (39)	369 (104)	369 (104)
医学研究科								59 (10)	59 (10)	59 (10)
司法政策研究科	30				28 (4)	26 (6)	35 (6)		89 (16)	89 (16)
臨床心理学研究科	15				15 (10)	15 (12)			30 (22)	30 (22)
連合農学研究科	23				39 (15)	26 (6)	72 (16)		137 (37)	137 (37)
計	633	514(118)	533(124)	1,047(242)	176 (57)	166 (55)	269 (64)	212 (49)	823(225)	1,870 (467)
山口大学大学院連合獣医学研究科	12				3 (0)	2 (0)	3 (0)	6 (1)	14 (1)	14 (1)

(注)1. ()は女子で内数。

- 現員には外国人留学生を含む。
- 司法政策研究科(法科大学院)、臨床心理学研究科は専門職学位課程である。
- 連合農学研究科は鹿児島・佐賀・琉球の3大学の構成によるものである。
- 山口大学大学院連合獣医学研究科の現員数は、鹿児島大学(指導教員)に属する学生数である。
- 人文社会科学研究科修士課程(博士前期)の現員数は、臨床心理学専攻(平成19年度より募集停止)に属する学生数を含む。
- 印は旧研究科である。

大学院の社会人選抜入学者数

(平成20年5月1日現在)

研究科	平成20年度
人文社会科学研究科	7
教育学研究科	9
保健学研究科	9
理工学研究科	4
農学研究科	7
水産学研究科	
医歯学総合研究科	6
司法政策研究科	23
臨床心理学研究科	
連合農学研究科	4
計	76

(注)現職教員を含む。

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

入学状況

学部

(平成20年5月1日現在)

学 部	入学定員	志 願 者 数	入 学 者 数	入学者の出身地別割合(%)	
				県 内	県 外
法 文 学 部	395	1,443 (835)	414 (243)	63.5	36.5
教 育 学 部	275	989 (494)	289 (143)	64.7	35.3
理 学 学 部	185	500 (168)	191 (66)	47.6	52.4
医 学 学 部	205	1,153 (621)	205 (124)	49.3	50.7
歯 学 学 部	55	209 (71)	55 (18)	25.5	74.5
工 学 学 部	455	1,592 (273)	474 (83)	48.9	51.1
農 学 学 部	235	769 (355)	246 (98)	33.7	66.3
水 産 学 学 部	140	706 (220)	145 (43)	31.7	68.3
合 計	1,945	7,361(3,037)	2,019 (818)	50.4	49.6

(注)1. ()内は女子を内数で表す。

2. 私費外国人学部留学生を除く。

入学者出身地別内訳(出身高校等所在地による)

(注) その他は、高等学校卒業程度認定試験合格(従前の大学入学資格検定合格を含む。)及び在外教育施設出身の入学者を表す。

九州地区

	法	教	理	医	歯	工	農	水	合計
鹿児島	263	187	91	101	14	232	83	46	1,017
沖縄	0	1	2	2	1	0	2	0	8
宮崎	39	14	23	24	3	63	13	5	184
大分	12	3	5	7	0	12	10	2	51
熊本	27	23	18	17	7	50	27	8	177
長崎	17	19	15	12	0	33	15	13	124
佐賀	10	6	4	2	1	8	5	2	38
福岡	27	17	17	26	3	45	48	13	196
合計	395	270	175	191	29	443	203	89	1,795

北海道地区

法	0
教	1
理	1
医	0
歯	0
工	1
農	3
水	2

中部地区

法	4
教	1
理	4
医	1
歯	6
工	5
農	8
水	13

東北地区

法	0
教	0
理	1
医	0
歯	1
工	0
農	1
水	3

中国地区

法	10
教	5
理	4
医	1
歯	4
工	12
農	11
水	8

関東地区

法	0
教	0
理	1
医	1
歯	4
工	4
農	5
水	10

近畿地区

法	2
教	8
理	3
医	8
歯	9
工	5
農	11
水	16

四国地区

法	2
教	3
理	0
医	1
歯	2
工	3
農	2
水	4

その他

法	1
教	1
理	2
医	2
歯	0
工	1
農	2
水	0

沖縄

8

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

大学院(志願者・受験者・合格者状況)

【修士課程・博士前期課程】

(平成19年度)

研究科	専攻等	入学定員	志願者数				受験者数				合格者数				入学者数			
			一般	社会人	留学生	推薦	計	一般	社会人	留学生	推薦	計	一般	社会人		留学生	推薦	計
人文社会科学研究科	法学	5	3	2	-	5	3	2	-	5	2	2	-	4	4			
	経済社会システム	10	4	6	2	12	4	6	2	12	3	4	2	9	8			
	人間環境文化論	5	9	-	2	11	8	-	2	10	5	-	2	7	6			
	国際総合文化論	8	9	3	-	12	9	3	-	12	7	2	-	9	9			
	計	28	25	11	4	40	24	11	4	39	17	8	4	29	27			
教育学研究科	学校教育	6	12	3	2	17	12	3	2	17	11	3	2	16	15			
	教科教育	32	35	6	4	45	34	6	4	44	29	6	1	36	32			
	計	38	47	9	6	62	46	9	6	61	40	9	3	52	47			
保健学研究科	看護学	12	5	6	-	11	5	5	-	10	5	5	-	10	10			
	理学療法・作業療法	10	11	4	-	15	11	4	-	15	11	4	-	15	15			
	計	22	16	10	-	26	16	9	-	25	16	9	-	25	25			
理工学研究科	機械工学	27	47	-	8	55	47	-	8	55	45	-	8	53	49			
	電気電子工学	24	36	1	12	49	35	1	12	48	28	1	12	41	39			
	建築学	18	24	-	3	27	24	-	3	27	20	-	3	23	22			
	応用化学工学	18	20	2	3	25	19	2	3	24	19	2	3	24	21			
	海洋土木工学	15	20	1	3	24	20	1	3	24	15	1	3	19	17			
	情報工学	18	28	5	7	40	28	5	7	40	24	2	7	33	31			
	生体工学	15	14	1	5	20	12	1	5	18	11	1	5	17	16			
	ナノ構造先端材料工学	28	35	2	37	32	2	34	31	2	34	31	2	33	31			
	数理情報科学	12	18	2	20	16	2	18	15	2	17	13	2	15	13			
	物理科学	11	19	2	21	16	2	18	14	2	16	15	2	16	15			
	生命科学	15	25	1	26	25	1	26	20	1	21	20	1	21	20			
	地球環境科学	15	19	3	22	18	3	21	17	3	20	20	3	23	20			
		計	216	305	4	12	45	366	292	4	12	45	353	259	4	9	45	317
農学研究科	生物生産学	26	24	1	2	27	24	1	2	27	23	1	1	25	24			
	生物資源化学	21	25	2	2	30	25	2	2	30	24	2	2	29	26			
	生物環境学	22	14	5	2	21	14	4	2	20	13	4	2	19	19			
	計	69	63	8	4	78	63	7	4	77	60	7	3	73	69			
水産学研究科	水産学	32	15	4	15	34	15	4	15	34	14	4	15	33	30			
医歯学総合研究科	医科学	20	20	6	-	26	19	6	-	25	19	6	-	25	22			
	合計	425	491	48	30	632	475	46	30	632	425	43	23	63	554	514		

(注)教育学研究科の「社会人」は、「現職教員等」を表す。

【博士課程・博士後期課程】

研究科	専攻	入学定員	志願者数				受験者数				合格者数				入学者数
			一般	社会人	留学生	推薦	計	一般	社会人	留学生	推薦	計	一般	社会人	
人文社会科学研究科	地域政策科学	6	1	1	1	8	1	1	1	8	1	1	1	7	7
保健学研究科	保健学	6	4	1	5	5	4	1	5	5	4	1	5	5	5
理工学研究科	物質生産工学	7	4	2	2	8	4	2	2	8	4	2	2	8	8
	システム情報工学	7	1	2	3	3	1	2	3	3	1	2	3	3	3
	生命物質システム	8	5	2	1	8	5	2	1	8	5	2	1	8	7
	ナノ構造先端材料工学	12	4	1	5	5	4	1	5	5	4	1	5	5	5
	計	34	14	5	5	24	14	5	5	24	14	5	5	24	23
医歯学総合研究科	健康科学	36	8	11	3	22	8	11	3	22	8	11	3	22	22
	先進治療科学	58	13	14	27	27	13	14	27	27	13	14	27	27	
	計	94	21	25	3	49	21	25	3	49	21	25	3	49	49
連合農学研究科	生物生産科学	8	3	2	5	10	3	2	5	10	3	2	5	10	10
	生物資源利用科学	7	5	2	5	12	5	2	5	12	5	2	5	12	12
	生物環境保全科学	4	4	3	7	7	4	3	7	7	4	3	7	7	
	水産資源科学	4	1	7	8	1	6	7	1	6	7	1	6	7	
	計	23	13	4	20	37	13	4	19	36	13	4	19	36	36
	合計	163			123			122					121	120	

(注)人文社会科学研究科の下段は、進学者選考の数を表す。

【専門職学位課程】

研究科	専攻等	入学定員	志願者数				受験者数				合格者数				入学者数
			一般	社会人	留学生	推薦	計	一般	社会人	留学生	推薦	計	一般	社会人	
司法政策研究科	法曹実務	30	94	-	-	94	70	-	-	70	44	-	-	44	25
臨床心理学研究科	臨床心理学	15	50	2	52	48	2	50	19	19	19	15	15	15	
	合計	45	144	2	146	118	2	120	63	63	63	40	40		

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

卒業・修了数 / 就職状況

卒業生数・就職状況

(平成20年5月1日現在)

学部	卒業生数 (累計)	平成 19年度 卒業生数	就職状況																
			就職希望者数	就職者数	就職率 (%)	業種別						地区別					鹿児島県	その他	
						農林業 漁業	建設製造 電気ガス水道 情報通信運輸 卸売・小売	金融保険 医療福祉 教育学習 サービス	公務員	教員	その他	関東	中部	近畿	中国	四国			九州
法文学部	12,968	443	332	306	92.2		116	133	27	6	24	43	4	8			86	140	25
教育学部	16,755	297	225	199	88.4		32	38	21	101	7	22	4	6	5		32	130	
理学部	5,642	188	88	86	97.7		41	26	9	9	1	17	8	3	2		25	30	1
医学部	5,314	221	114	114	100.0			108	6			8	2	5	1		38	59	1
歯学部	1,591	63																	
工学部	14,695	481	229	222	96.9		183	20	10	1	8	85	17	27	7	4	40	42	
農学部	10,896	232	165	161	97.6	7	63	46	19	5	21	39	13	18	2	1	40	44	4
水産学部	6,603	139	96	94	97.9		60	20	4	3	7	38	3	10	6	2	16	18	1
(文理学部)	2,651																		
合計	77,115	2,064	1,249	1,182	94.6	7	495	391	96	125	68	252	51	77	23	7	277	463	32

- (注)1. 卒業生数(累計)は昭和24年5月本学設置以降の全数を計上した。ただし、医・工学部については昭和30年国立移管以降について計上した。
 2. 卒業生数は9月卒業生を含む。
 3. 医学部の就職状況は保健学科を表す。

大学院修了者数

(平成20年5月1日現在)

研究科	修士課程(博士前期)		博士課程(博士後期)		専門職学位課程	
	修了者数 (累計)	平成19年度 修了者数	修了者数 (累計)	平成19年度 修了者数	修了者数 (累計)	平成19年度 修了者数
人文社会科学研究科	348	46	6	1		
教育学研究科	490	42				
保健学研究科	100	26				
医学研究科			554	9		
歯学研究科			112	1		
理工学研究科	4,065	262	267	23		
農学研究科	1,629	51				
水産学研究科	938	22				
医歯学総合研究科	45	15	36	20		
司法政策研究科					46	17
連合農学研究科			515	27		
(法学研究科)	123					
(人文科学研究科)	120					
(理学研究科)	539					
計	8,397	464	1,490	81	46	17

- (注)1. 博士課程については、単位取得後退学した者は含まない。
 2. 印は旧研究科である。

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

学位授与状況

(平成20年5月1日現在)

研究科	修士課程		博士課程				専門職学位課程	
	累計	平成19年度授与	累計	平成19年度授与	累計	平成19年度授与	累計	平成19年度授与
人文社会科学研究科	348	46	9	3				
教育学研究科	490	42						
保健学研究科	100	26						
医学研究科			665	11	1,454	14		
歯学研究科			136	1	70	10		
理工学研究科	4,065	262	291	27	51	4		
農学研究科	1,629	51						
水産学研究科	938	22						
医歯学総合研究科	45	15	39	23	1	1		
司法政策研究科							46	17
連合農学研究科 (法学研究科)	123							
(人文科学研究科)	120							
(理工学研究科)	539							
計	8,397	464	1,752	100	1,683	38	46	17

(注)医学研究科については、昭和30年国立移管後の数を計上した。

奨学生状況

(平成20年5月1日現在)

学部・研究科等	在学生数	日本学生支援機構		各種団体 育英会	計	在学生に対する 百分率	
		第一種奨学生	第二種奨学生				
学部	法文学部	1,847	289	583	55	927	50.2
	教育学部	1,225	165	379	26	570	46.5
	理学部	815	143	255	12	410	50.3
	医学部	1,089	159	327	34	520	47.8
	歯学部	331	50	102	6	158	47.7
	工学部	2,154	311	683	44	1,038	48.2
	農学部	1,112	158	328	27	513	46.1
	水産学部	612	63	189	7	259	42.3
計	9,185	1,338	2,846	211	4,395	47.8	
大学院(修士課程)	人文社会科学研究科	73	12	7	2	21	28.8
	臨床心理学研究科	30	7	3		10	33.3
	教育学研究科	86	11	4		15	17.4
	保健学研究科	46	2			2	4.3
	理工学研究科	593	166	59	3	228	38.4
	農学研究科	145	21	3	1	25	17.2
	水産学研究科	62	9	5		14	22.6
	医歯学研究科	42	10	1		11	26.2
計	1,077	238	82	6	326	30.2	
大学院(博士課程)	人文社会科学研究科	26	5	2		7	26.9
	保健学研究科	23	1			1	4.3
	理工学研究科	89	18	1		19	21.3
	医歯学総合研究科	370	21	11	1	33	8.9
	医学研究科	59	1			1	1.7
	連合農学研究科	137	26	3		29	21.2
計	704	72	17	1	90	12.8	
司法政策研究科	89	22	30		52	58.4	
合計	11,055	1,670	2,975	218	4,863	44.0	

<備考:奨学金月額>

日本学生支援機構(平成20年度入学者)

第一種奨学生 学部生:自宅通学 45,000円/自宅外通学 51,000円 大学院生:修士・博士前期課程 88,000円/博士後期課程 122,000円
 第二種奨学生 学部生:30,000・50,000・80,000・100,000円・120,000円 大学院生:50,000・80,000・100,000・130,000円・150,000円
 各種団体育英会 10,000~55,000円

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

附属学校入学定員・現員数

附属学校

【教育学部附属幼稚園】

(平成20年5月1日現在)

附属幼稚園	入園定員	現 員				学 級 数
		3歳児	4歳児	5歳児	計	
3年保育	20	19	35	34	88	3歳児、4歳児、5歳児 各1学級 計3学級
2年保育	15					
計						

(注)4歳児は3年保育進級児と2年保育入園児、5歳児は4歳児の進級児

【教育学部附属小学校】

(平成20年5月1日現在)

附属小学校	学級区分	入学定員	現 員						学 級 数		
			1年	2年	3年	4年	5年	6年		計	
附属小学校	単式学級	160	160	159	155	156	150	158	938	各学年4学級 計24学級	
	複式学級	1年	8	8					47	1・2年で1学級	
		2年	8		8						
		3年	8			8				3・4年で1学級 計3学級	
		4年	8				8				
		5年	8					8			5・6年で1学級
		6年	8					7			
計	168	168	167	163	164	158	165	985	計27学級		

【教育学部附属中学校】

(平成20年5月1日現在)

附属中学校	学級区分	入学定員	現 員				学 級 数
			1年	2年	3年	計	
附属中学校	普通学級	200	200	200	200	600	各学年5学級 計15学級

【教育学部附属特別支援学校】

(平成20年5月1日現在)

附属特別支援学校	学級区分	入学定員	現 員						学 級 数	
			1年	2年	3年	4年	5年	6年		計
附属特別支援学校	小学部	3	3	3	3	3	3	3	18	1・2学年で1学級 3・4学年で1学級 計3学級 5・6学年で1学級
	中学部	6	6	6	6				18	各学年1学級 計3学級
	高等部	8	9	8	8				25	各学年1学級 計3学級

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

文部科学省教育支援プログラム

プログラム名	テーマ	部局名(事業実施)	平成20年度 配分予定額 (単位:千円)	年度
現代的教育ニーズ取組支援プログラム	地域マスコミと連携した総合的キャリア教育 ~「地方の視点」から問題発見・ 解決と提言を行う人材の育成~	法文学部	18,000	平成18~20年度
特色ある大学教育支援プログラム	ISOを活用した教育システムの展開 ~ユニバーサルアクセス時代への展開~	水産学部	8,000	平成17~20年度
	鹿児島の中に世界をみる 教養科目群の構築	教育センター	15,500	平成18~20年度
理数学生応援プロジェクト	インテンスブ理数教育 特別プログラム推進事業	理学部	11,997	平成20~24年度
地域医療等社会的ニーズに対応した 質の高い医療人養成推進プログラム	離島へき地医療を支える総合小児科医養成 ~総合小児科医と新たな小児医療参画医が 離島へき地小児医療の質を変える~	医学部・歯学部附属病院	26,850	平成18~20年度
専門職大学院等教育推進プログラム	生きる教師力を育む特別支援学校教員養成 ~オンラインポートフォリオによる理論・実 践の調和と個別的学习プログラムの構築~	教育学研究科	20,000	平成19~20年度
	実務技能教育指導要綱作成プロジェクト	司法政策研究科 (主管大学:名古屋大学)	19,925 (グループ全体)	平成19~20年度
	九州・沖縄連携実習教育高度化プロジェクト ~大学を超えた協働と競争による 新たなシナジーを目指して~	司法政策研究科 (主管大学:九州大学)	20,000 (グループ全体)	平成19~20年度
がんプロフェッショナル養成プラン	九州がんプロフェッショナル養成プラン	医歯学総合研究科等 (主管大学:九州大学)	125,506 (グループ全体)	平成19~23年度
派遣型高度人材育成協同プラン	食の安全マネージャー養成プログラム	農学研究科	8,284	平成17~21年度
社会人の学び直しニーズ対応 教育推進プログラム	高度林業生産システムを実現する 「林業生産専門技術者」養成プログラム	農学研究科	14,553	平成19~20年度

特別教育研究経費

区分	事業名	部局名(実施主体)	平成20年度 運営費交付金予算額 (単位:千円)	事業期間
教育改革	稲盛アカデミーの 産学連携教育プログラムによる人材育成	稲盛アカデミー	41,300	平成18~20年度
	水圏環境・食資源・島嶼医療分野で 国際的に活躍できる高度専門能力及び 技術経営能力を備えた人材の養成	国際戦略本部	20,402	平成18~21年度
	県教育委員会との連携による 新しい教員養成カリキュラムの開発・実施	教育学部	4,151	平成19~21年度
研究推進	三大学の連携による離島・僻地校での教科指 導力向上のための教育課程の編成	教育学部	6,880	平成19~20年度
	HTLV - 1 関連疾患に対する 発症予防と治療法確立に関する研究	大学院医歯学総合研究科	30,000	平成20~22年度
拠点形成	離島へき地医療人育成センターの設置	大学院医歯学総合研究科	36,286	平成19~23年度

はじめに

組
織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財
務

キャンパス

教育研究プロジェクト

拠点形成教育研究プロジェクト

プロジェクト名 (分野)	担当・部局	事業担当 教員数	概要
港市モデルに基づく 新島嶼学の構築 - 太平洋周縁域を 中心として - (経済学)	人文社会科学研究所 拠点リーダー 教授 山田 誠 研究科長 木部 暢子	13	本プログラムは「人文科学を基層にすえた新しい社会科学の構築」をめざしている。人文科学における基層部分の知見を社会科学に取り込む新しい試みであり、4つの目標を設定している。 1. 既存の学問分野を超えた、「新しい島嶼学」を創出し、島嶼を新しい手法で研究し、政策提言をできる若手研究者を育成すること。 2. ネットワーク展開のプロセスに着目した社会分析概念である「港市」モデルを提唱し、「港市」に関する若手研究者を育成すること。 3. 「新しい島嶼学」の成果を世界規模で発信する拠点を形成し、継続的な島嶼を研究する若手研究者教育拠点とすること。 4. 国内外の研究者および島嶼社会で専門家の教育研究拠点を形成すること。
銀河系の探求と 星間物質学 - 宇宙生命環境の 解明に向けて - (宇宙科学・天文学)	理工学研究科 拠点リーダー 教授 祖父江 義明 研究科長 福井 泰好	21	私たちが住む天の川銀河系を、VERA(銀河系広域精密測距儀)および国内外の巨大天体観測装置群を用いて精密に探査し、銀河構造と進化および活動の解明を行う。 これら天体観測データと解析にもとづき、銀河天文学・宇宙科学の高度な研究教育を推進する。また銀河系における星間物質の研究、恒星進化についての研究を行う。天文学・天体物理学の基礎に立って、惑星形成と、惑星における宇宙生命の発生環境について考察し、太陽系と惑星地球における生命起源を解明する。さらに、人類の宇宙移住という壮大な夢の実現に向けて宇宙空間環境における宇宙医学および宇宙生命科学の研究教育を推進する。
「海洋環境の知的デザイン」 - 海洋科学と土木工学の 融合・先鋭化戦略 - (土木工学)	理工学研究科 拠点リーダー 教授 武若 耕司 研究科長 福井 泰好	25	人間の生産活動は海洋環境に大きなひずみを与え、地球全体の生態系システムにまで影響を及ぼす大きな問題となりつつある。そこで、理工学研究科海洋土木工学専攻では、同研究科理系専攻、連合農学研究科、水産学研究科、法文学部人文学科等の協力を得て、土木工学と海洋科学を融合、尖鋭化させた「海洋総合理工学」を構築し、人間活動と自然環境が共存できる真の「海洋環境の知的デザイン」を達成するための研究・教育の拠点形成を目指した。また、ここでは、アジアの大学とも連携して学際的センスをもつ新たな人材をグローバルに輩出するとともに、今後急激な環境悪化が懸念されるアジアの沿岸を研究フィールドの1つとするという特徴も有する。
農水産物の安全性と 機能性に関する 国際センター構想 (水産学)	連合農学研究科 拠点リーダー 教授 越塩 俊介 研究科長 青木 孝良	18	輸入食料の安全性が社会問題になったように、我が国にとって農水産物の安全性確保は非常に重要な課題である。鹿児島大学連合農学研究科を核として、食の機能性・安全性分野で実績を持つ研究者を中心に、人の健康に危害を与える物質の代謝、蓄積、排泄のメカニズムを解明し、さらに、食品有効成分の機能性を損なうことなく有害物質を低減する技術開発を行う。これらの研究プログラムを通して、1)世界で活躍できる国際人の育成、2)安全性の高い農水産物生産技術の確立、3)安全性を高めるための機能性物質データベースの作成、4)安全性・機能性を付加した食品に対する社会的価値の解明等を推進するための国際研究センターの構築を目指す。
難治疾患の先端的診断と 治療の教育研究拠点 - ウイルス感染による難治 性疾患の治療法の確立 - (基礎医学)	医歯学総合研究科 拠点リーダー 教授 秋山 伸一 研究科長 杉原 一正	15	本拠点は、これまでに鹿児島大学で培われてきた卓越した先見性と豊富な臨床経験を基盤に、最先端の基礎研究を継続し、さらに、病態の解明やフィールド研究に加え、分子標的治療薬やがん幹細胞治療法の開発などのトランスレーショナルリサーチを推進することにより、現在、治療法が無いATLやHAMなどの難病に苦しむ人々を治療しうる革新的な治療法を開発し、同時に、難治疾患の基礎研究から臨床応用までを一貫教育する大学院教育の実質化により、臨床応用の視点を持った国際的に活躍できる基礎医学研究者と、基礎研究を難病患者の臨床に応用できる卓越した臨床医を育成する。
こころの先端科学と医療 のフロンティア - 心身症・行動障害の 国際統合医療拠点 - (内科系臨床医学)	医歯学総合研究科 拠点リーダー 教授 乾 明夫 研究科長 杉原 一正	20	本研究は自然科学系、社会・人文科学系、医学系にまたがるグローバルな教育・研究拠点として、心身症・行動障害に対する先端科学と医療のフロンティア「こころのフロンティア」を形成する。鹿児島大学の特色をなす霊長類を用いた情動・行動の分子レベルでの解明、ヒトのこころの障害メカニズムの分子・行動・心理レベルでの解析と制御、革新的治療技術と分子イメージングを用いたオーダーメイド医療の開発、ロボット技術を駆使したこころと体の先端的リハビリテーションなど、心身症・行動障害に対する異分野融合の応用研究を推進する。心身症、行動・運動障害に対し、新たな診断・治療・リハビリシステムを構築し、社会に対する責務を果たす。

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

リポジトリ

(平成20年4月1日現在)

学 部 等	論 文 数
法 文 学 部	153
教 育 学 部	292
理 学 部	46
歯 学 部	93
工 学 部	255
農 学 部	1,850
水 産 学 部	107
理 工 学 研 究 科	3
医 歯 学 総 合 研 究 科	10
連 合 農 学 研 究 科	18
山口大学大学院連合獣医学研究科	2
学 内 共 同 教 育 研 究 施 設 等	47
計	2,876

(注)鹿児島大学の研究成果(学術論文、紀要論文、博士論文等)をデータベース(機関リポジトリ)に恒久的に保存し、インターネットを通じて一般公開している。

<http://ir.kagoshima-u.ac.jp>

学術刊行物

学 部	刊 行 物	発 行 回 数
法 文 学 部	鹿児島大学法文学部紀要(法学論集、経済学論集、人文学科論集)	年 2 回
	鹿児島大学法文学部国語国文学会誌(国語国文薩摩路)	年 1 回
	鹿大史学会誌(鹿大史学)	年 1 回
	鹿児島大学英文学会誌(鹿大英文学)	年 1 回
	地域政策科学研究	年 1 回
教 育 学 部	鹿児島大学教育学部研究紀要(人文・社会科学編、自然科学編、教育科学編)	年 1 回
	鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要	年 1 回
	鹿児島大学教育学部附属幼稚園研究誌	年 1 回
	鹿児島大学教育学部附属小学校研究紀要	年 1 回
	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校研究紀要	隔 年 1 回
理 学 部	鹿児島大学理学部紀要	年 1 回
医 学 部	鹿児島大学医学雑誌	年 3 回
	鹿児島大学医学部保健学科紀要	年 1 回
歯 学 部	鹿児島大学歯学部紀要	年 1 回
工 学 部	鹿児島大学工学部研究報告	年 1 回
農 学 部	鹿児島大学農学部学術報告	年 1 回
	Memoirs of the Faculty of Agriculture Kagoshima University	年 1 回
	鹿児島大学農学部農場研究報告	年 1 回
	鹿児島大学農学部農場技術調査報告書	隔 年 1 回
	鹿児島大学農学部演習林研究報告	年 1 回
水 産 学 部	鹿児島大学水産学部紀要	年 1 回
多 島 圏 研 究 セ ン タ ー	南太平洋研究	年 2 回
	南太平洋海域調査研究報告	不 定 期
総 合 研 究 博 物 館	鹿児島大学総合研究博物館研究報告	不 定 期
	鹿児島大学総合研究博物館モノグラフ	不 定 期
生涯学習教育研究センター	年報	年 1 回
留 学 生 セ ン タ ー	年報	年 1 回
学 術 情 報 基 盤 セ ン タ ー	年報	年 1 回

はじめに

組
織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財
務

キャンパス

産学官連携活動

協定

協定締結相手	協定締結年月日
与論町地域再生計画に伴う旧与論町立診療所の施設設備等の活用に係わる施設の賃貸借料に関する協定	平成17年 2月14日
社団法人鹿児島県工業倶楽部との包括連携協力協定	平成17年10月21日
鹿児島県酒造組合連合会との包括連携協力協定	平成18年 3月 9日
奄美市との包括連携協定	平成18年 3月13日
日本政策投資銀行との連携協定	平成18年 5月31日
徳之島町と国立大学法人鹿児島大学とのヘルシーブランド事業計画の実施に関する協定	平成19年11月19日
鹿児島市と国立大学法人鹿児島大学との包括連携に関する協定	平成19年11月30日

寄附講座

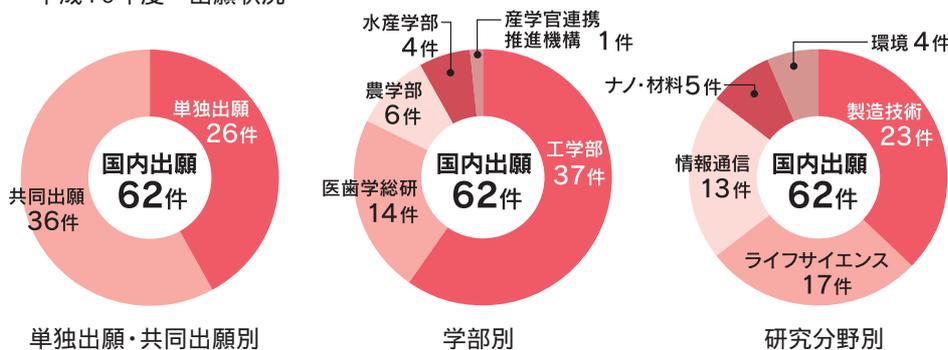
部局名	講座名	設置期間	寄付者名	主な研究内容等
大学院医歯学総合研究科	臨床予防医療講座	平成16年4月1日～平成21年3月31日	(株)新日本科学	ストレス応答と生体防御機構 炎症のメカニズム 細胞死に関する研究 機能性食品と漢方
	医療関節材料開発講座	平成18年6月1日～平成23年5月31日	日本メディカルマテリアル(株)	人工股関節の開発 人工骨頭手術におけるQOL評価 最小侵襲手術手技(MIS)の確立と器具の開発
	心筋症病態制御講座	平成18年11月1日～平成23年10月31日	ジェンザイム・ジャパン(株)	心筋症の疫学、病態、診断及び治療に関する研究
農学部	焼酎学講座	平成18年4月1日～平成23年3月31日	鹿児島県 鹿児島県酒造組合連合会	焼酎文化と技術の継承者の育成 薩摩焼酎の継続的発展 焼酎クラスターの発展

文部科学省科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム

課題名(年度)	平成20年度配分予定額(単位:千円)	概要等
かごしま ルネッサンスアカデミー (平成18～22年度)	49,400	<p>(目的等)</p> <p>食産業従事者等の社会人を対象として、鹿児島県の醸造や発酵を中心とする食文化の創造と食産業の発展に寄与し、地域の再生に資する人材を育成する。本アカデミーは、鹿児島県や県内の多くの企業・団体の協力を得て運営している。</p> <p>(カリキュラム)</p> <p>食の安全管理コース(定員:10名) 醸造・発酵関連の食品産業における安全と品質管理等に関する高度技術を持つ人材の養成</p> <p>経営管理コース(定員:10名) 急速な技術革新や市場ニーズの変化に戦略的に対応できる技術マネジメント力を持つ人材の養成</p> <p>健康・環境・文化コース(定員:30名) 歴史・文化、環境をはじめ、健康・長寿の基礎知識など、食を中心とした鹿児島の魅力を情報発信できる人材の養成</p>

知的財産管理状況

平成19年度 出願状況



平成19年度末 特許保有件数

	登録済	出願中	合計
国内	12	214	226
外国	7	87	94

平成19年度 ライセンス実績件数

特許	5
商標	5
ノウハウ	5
合計	15

(注)ノウハウには、ソフトウェア、研究試料を含む。

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

(平成20年4月1日現在)

講座名	実施部局	開催期間 開設時間帯	時間数 (時間)	講習料 (円)	受講対象者	募集人員 (人)	開催場所
日本国憲法の現在	法文学部	8/16~9/13(各土) 14:00~15:30	7.5	3,600	社会人	50	総合教育研究棟 102号
暮らしの変化とお金の流れ(仮題)	法文学部	8/23~9/27(各土) 10:30~12:00	9	0	社会人	70	総合教育研究棟 102号
なぜ外国語を学ぶのか? ~日本人にとっての外国語~	法文学部	12/6 13:00~16:30	3	0	高校生,一般市民	150	法文学部103号
端材でつくろう木のおもちゃ	教育学部	6/22 12:00~16:00	4	0	親子	50	教育学部 第一体育館
水彩による人物画制作	教育学部	8/3 9:00~17:00	7	3,600	絵画制作経験者	25	教育学部 音楽美術棟3F
学校カウンセリング基礎セミナー	教育学部	8/5~8/6 9:00~16:20	12	6,400	教員,教育関係者	60	郡元キャンパス
授業に活かすコンピュータとインターネット	教育学部	8/7~8/8 9:00~16:20	12	6,400	教員,教育関係者	35	教育実践総合センター
理学療法士・作業療法士のためのやさしい生体力学	医学部	6/21,7/5 13:30~16:30	6	3,200	理学療法士,作業療法士等	30	保健学科研究棟2F
ストーマリハビリテーションの基本	医学部	7/5 9:30~17:00	6.5	5,400	保健師,助産師,看護師,准看護師	50	保健学科教育棟 ・研究棟
Active Aging-リハビリテーションからケアまで (務島市)	医学部	8/3 9:30~16:30	6	5,200	医師,看護師,保健師,理学・作業 療法士,ヘルパー,一般市民	100	リハビリテーション センター
高齢者の介護	医学部	8/23 13:00~18:00	5	5,000	医療従事者・福祉関係者	40	保健学科 東研究棟2F
ALS療養者の在宅支援	医学部	9/13 9:30~17:00	6.5	5,400	看護職者	45	保健学科研究棟 601号
Active Aging-リハビリテーションからケアまで (鹿児島市)	医学部	9/14 9:30~16:30	6	5,200	医師,看護師,保健師,理学・作業 療法士,ヘルパー,一般市民	100	医学部鶴陵会館
リハビリテーション介護 ~"最後までその人らしく"を支える~	医学部	9月中旬頃 9:30~16:30	6	5,200	看護職者	26	保健学科
Active Aging-リハビリテーションからケアまで (那覇市)	医学部	11/9 9:30~16:30	6	5,200	医師,看護師,保健師,理学・作業 療法士,ヘルパー,一般市民	100	沖縄県立看護大学
健康は口から(仮題)	歯学部	未定	未定	未定	一般市民	未定	未定
超簡単ゲームプログラミング(仮題)	工学部	11/15頃 13:00~16:00	3	0	小・中・高・大・院生,社会人	60	情報工学科棟計算 機演習室
水の中の見えない世界を調べる	水産学部	8/7 9:00~17:00	8	0	中・高校生,理科に興味のある一般市民	30	資源育成科学棟
「食べ物」がたぐ海と食卓 ~魚食の裏側を知る~	水産学部	9/27~9/28頃 13:30~16:30	3	2,600	一般市民	100	水産学部
第4回 海岸へ行こう	水産学部	10月又は11月 9:00~17:00	8	500	小学生と保護者	50人程度	吹上浜(吹上砂丘荘)
大道仮説実験 1	生涯学習教育 研究センター	4/13,5/18,6/8,7/13 14:00~16:00	2	0	小学生以上と保護者	20組	鹿児島市立科学館
総計と行政改革ゼミナール(前期)	生涯学習教育 研究センター	4月~9月 17:30~19:30	12	6,400	垂水市職員	20	垂水市役所
垂水のまちづくりとESDゼミナール(前期)	生涯学習教育 研究センター	4月~9月 17:30~19:30	12	6,400	垂水市民	20	垂水市役所
分子模型づくり講座(中級)	生涯学習教育 研究センター	5/10,6/14,7/12 10:00~11:30	4.5	3,000	小学3年~中学生と保護者	12組	共通教育棟 4号館4F演習室
地元学と地域づくり	生涯学習教育 研究センター	6/7~6/8(1泊2日) 9:00~22:00	20	8,000	垂水市民	20組	未定
科学館で夏休み 親子孫夫婦でたのしい仮説実験講座(1)	生涯学習教育 研究センター	8/6~8/9 10:00~11:30	6	3,200	小・中学生と保護者	40組	鹿児島市立科学館
科学館で夏休み 親子孫夫婦でたのしい仮説実験講座(2)	生涯学習教育 研究センター	8/20~8/23 10:00~11:30	6	3,200	小・中学生と保護者	40組	鹿児島市立科学館
たのしい授業入門講座	生涯学習教育 研究センター	8/25~8/26 10:00~12:30	5	5,000	小・中・高の教員,社会人	50	教育学部
地域を支える食の安心安全ワークショップ ~焼酎から考える~(かごしまルネッサンスアカデミー・ブレ企画)	生涯学習教育 研究センター	8/30 9:00~16:30	6.5	3,400	一般市民	30	サンエール鹿児島
地域を支える医療福祉ワークショップ (かごしまルネッサンスアカデミー・ブレ企画)	生涯学習教育 研究センター	8/31,9/7 13:00~16:30	7	3,400	一般市民	30	サンエール鹿児島
親子で冒険 かごしまの海と山	生涯学習教育 研究センター	夏休み(2日間) 9:30~16:00	14	4,800	小学4年生以上と保護者	10組(30人) 先着順	錦江湾,高隈演習林
分子模型づくり講座(初級)	生涯学習教育 研究センター	10/11,11/15,12/13,1/17 10:00~11:30	6	3,200	小学3年~中学生と保護者	12組	生涯学習教育 センター演習室
大道仮説実験2	生涯学習教育 研究センター	10/11,11/8,12/13,1/10 14:00~16:00	2	0	小学生以上と保護者	20組	鹿児島市立科学館
総計と行政改革ゼミナール(後期)	生涯学習教育 研究センター	10月~3月 17:30~19:30	12	6,400	垂水市職員	20	垂水市役所
垂水のまちづくりとESDゼミナール(後期)	生涯学習教育 研究センター	10月~3月 17:30~19:30	12	6,400	垂水市民	20	垂水市役所
牛根地区公開講座	生涯学習教育 研究センター	未定	6	3,200	牛根地区住民	40	牛根地区公民館
境地区公開講座	生涯学習教育 研究センター	未定	6	3,200	境地区住民	40	境地区公民館

はじめに

組
織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財
務

キャンパス

(平成20年4月1日現在)

講座名	実施部局	開催期間 開設時間帯	時間数 (時間)	講習料 (円)	受講対象者	募集人員 (人)	開催場所
協和地区公開講座	生涯学習教育 研究センター	未定	6	3,200	協和地区住民	40	協和地区公民館
水之上地区公開講座	生涯学習教育 研究センター	未定	6	3,200	水之上地区住民	40	水之上地区公民館
大野地区公開講座	生涯学習教育 研究センター	未定	6	3,200	大野地区住民	40	大野地区公民館
垂水地区公開講座	生涯学習教育 研究センター	未定	6	3,200	垂水地区住民	40	垂水地区公民館
柁原地区公開講座	生涯学習教育 研究センター	未定	6	3,200	柁原地区住民	40	柁原地区公民館
新城地区公開講座	生涯学習教育 研究センター	未定	6	3,200	新城地区住民	40	新城地区公民館
篤姫と帯刀	生涯学習教育 研究センター	8/30 14:00～16:00	2	0	一般市民	300	鹿児島市 吉田公民館
FSRC第6回公開講座「放射線ってどんなもの？」	フロンティア 研究センター	8/9 12:30～16:30	4	0	小・中学生、保護者、教員	20	フロンティアサイエンス 研究推進センター
再生・再建移植学	フロンティア 研究センター	10月以降 18:00～19:30	1.5	0	一般市民	何人でも可	桜ヶ丘共通教育棟

シニア短期留学

「シニア短期留学」とは、県外の50歳以上の社会人を対象にした特別講座で、参加者は鹿児島に2週間滞在し、鹿児島の文化、歴史、地理を学ぶ。午前中は主に学内で講義を受講し、午後からは現地での巡検を行う。県外のシニア層を対象としたこの特別講座は、平成17年に琉球大学が初めて実施し、翌平成18年からは本学でも生涯学習教育研究センターが主管となって実施している。平成20年度も、鹿児島県、鹿児島市、地元NPO法人、旅行企画会社などと連携して、「篤姫を生んだ鹿児島の文化と歴史」をテーマに、11月の開講予定。



シニア短期留学

鹿児島大学大学院奄美サテライト教室(奄美市・徳之島町)

平成16年度、全国にも例のない離島でのサテライト教室が奄美市(旧名瀬市)に設置された。離島地区に高度専門教育サービスを提供することを目的として、平成19年度には徳之島町に分室を展開している。現在、授業を提供しているのは、人文科学研究科と教育学研究科である。

科目等履修生を中心にした受講生とサテライト教室出身の正規大学院生が集まり、熱心な授業がおこなわれている。特に、人文科学研究科では、サテライト独自の講義科目「奄美プロジェクト研究」を開講し、離島の受講生のキャリアアップに役立てるような講義テーマを設定している。



平成20年度奄美サテライト教室開講式

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

文部科学省「大学教育の国際化推進プログラム」

【長期海外留学支援】

採択年度	取組名称	概要
平成19年度	鹿児島大学 長期海外留学支援プログラム	派遣国:ラオス 派遣期間:H19.9.1~H21.8.31 大学院学生のアジア地域への長期間の留学を推進するプログラムのもとに、研究の向上を図るばかりでなく、留学先においては本学の活動内容を紹介する大使として、また、帰国後は留学先とのパイプ役として本学の国際戦略「ASEAN(Japan)」や、留学生センターにおけるアドバイザーとしての役を担うことで、本学とアジア諸国の学生や若手研究者の交流をより強化し、国際舞台でアジアを代表して活躍する本学出身の人材の育成を目指す。

【海外先進教育研究実践支援(研究実践型)】平成19年度までは、「海外先進研究実践支援」

採択年度	大学としての取組名称	個別取組名称
平成18年度	融合科学による消化器癌の予防と治療	・癌予防食品の高度研究の実践 ・分子生物学的診断による消化器癌個別化治療
平成19年度	人類の健全な生活維持と地球環境の持続	・「健康と地域」の格差社会学 ・運動制御の認知脳内情報処理過程の研究 ・造礁サンゴの起源と礁形成環境の時代変遷
平成20年度	研究実践拠点構築に向けての調査研究	・研究実践拠点形成事業についての調査研究 ・北欧型漁業生産システムに関する研究

日本学術振興会

事業名	課題	事業期間	実施主体部局	概要
アジア・アフリカ 学術基盤形成事業	東アジアにおける シトリン欠損症の 診断と治療	平成 18 ～ 20 年度	医歯学総合 研究科	東アジアに保因者が高頻度に存在するシトリン欠損症の診断と治療を目的に、指導体制の構築を図り、講習会の開催、診断技術の提供などにより、若手研究者の育成を行うとともに、患者の確定診断を支援する。また、長期・継続的解析可能な研究体制を構築し、発病の有無とその誘因(遺伝的背景や食生活習慣などの環境要因)の探索調査を行い、シトリン欠損に基づく疾患の多様性を解明し、発症を予防する方策の開発を目指す。 東アジア諸国において、講演会、セミナーならびに国際シンポジウムを開催し、疾患概念・病態像・診断基準などの情報を提供するとともに、研究者交流、若手研究者の活性化を図り、さらにはアジアから世界に向けた最新情報の発信を行う。
二国間交流事業協 同研究・セミナー	フランスとの共同 研究(CNRS) 根粒菌の共生状態 への分化における 宿主植物由来抗菌 性ペプチドの役割	平成 19 ～ 20 年度	理学部	マメ科植物と根粒菌の共生窒素固定系は、地球規模の窒素循環において非常に重要な共生系である。根粒細胞内部で根粒菌を制御して共生状態(=バクテロイド化)とし、窒素固定活性を発現・維持する宿主植物の機構(根粒菌懐柔戦略)は、細胞内共生の根幹であるが、その解明に向けた研究は緒に就いたばかりである。 本研究では、根粒菌懐柔戦略に関わる植物分子の候補として、根粒中で大量に発現するNCRペプチド遺伝子に着目し、根粒菌に及ぼす影響を多面的に解析し、根粒菌のバクテロイド化との関係を明らかにすることを目的とする。若手研究者・大学院生の相互派遣も、本共同研究の大きな特徴である。
若手インターナシ ョナル・トレーニ ング・プログラム (ITP)	熱帯域における生 物資源の多様性保 全のための国際教 育プログラム	平成 19 (10 月) ～ 24 年度	理工学 研究科	世界でも最も生物多様性が高い地域の一つであるアジア熱帯地域において、生物多様性を保全するための分類学、生態学、生理学、環境科学等の研究分野で、国際的に活躍できる若手研究者を養成することを目的とする。そのために、大学院学生(博士課程、修士課程)助教等が、マレーシア及びインドネシアのパートナー機関と連携して数ヶ月の現地での経験を積み、国内での研修とあわせて教育研究のレベルアップを図る。
アジア研究 教育拠点事業	東南アジア沿岸域 の水産資源に対す るネガティブイン パクト対策に関す る研究拠点形成	平成 20 ～ 24 年度	水産学部	水産資源に対するネガティブインパクト(負の影響)の中でも特に石油流出による影響に焦点をあて、その影響の程度の総合的評価と回復技術の開発を図ると同時に、ネガティブインパクト問題への取り組み手法のモデルを構築することを目標とする。 水産学部とフィリピン大学ピサヤス校との間での拠点大学交流事業を通して実施した「沿岸海域における水圏環境・資源の利用」に関する共同研究を継承・発展させ、水圏環境に排出される有害化学物質や魚病などを含むネガティブインパクトの水産資源や漁場保全に対する影響と対策に関する研究に取り組む。

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

学術国際交流協定締結状況

大学間学術交流協定校(15カ国(地域)・44機関)

(平成19年度実績)

国・地域	締結機関名	受入数	派遣数	共同研究
中国	湘潭大学	8(6)	1(1)	
	雲南農業大学	7(1)		
	湖南農業大学	2	3(1)	2
	中南大学	2(1)		
	中国医科大学	28(7)	6(1)	3
	湖南大学			
	北京工業大学	7(1)		
	東北師範大学	2(1)	2(1)	1
	中国人民大學	1	1(1)	2
	中国科学院昆明植物研究所	1		2
	重慶大学	2		
韓国	中国社会科学院日本研究所			
	東北大学	2(1)		
	釜慶大学	8(5)		
	全北大学	67(62)	1(1)	
	群山大学			
	済州大学	4(4)	3	
	群山看護大学	2(2)		
	圓光大学			
	江陵大学	28(25)	16(15)	1
	江原大学	3(3)		
	公州大学	2(1)	21(20)	
インド	カルナタカ国立工科大学	2(2)	5(3)	1
インドネシア	アンダラス大学	2	6(1)	1
マレーシア	マレーシアトレンガヌ大学	3(1)	4	
台湾	淡江大学	2(2)	7(1)	
フィリピン	メジヨ大学	1(1)	2	
ベトナム	フィリピン大学	65(13)	30(13)	3
	ハノイ農業大学	1(1)		
南太平洋12カ国・地域	ハノイ貿易大学院	2(2)		
	ベトナム社会科学院		10	
パプアニューギニア	南太平洋大学			1
	パプアニューギニア大学	1(1)		
	ニューイングランド大学	3(2)	2(2)	
オーストラリア	シドニー工科大学		4(4)	
	西オーストラリア大学			1
	西オーストラリア地質調査所			
アメリカ	ジョージア大学	1	2(2)	
	マイアミ大学	1(1)	4(4)	1
	グアム大学	1		
	アルフレッド大学	1	1	
	西ジョージア大学	15(8)	3	
コロンビア	バージェ州立大学	2(2)		
スペイン	バレンシア工芸大学	2(2)	1(1)	

(注)受入数・派遣数欄の()は、学生交流数で内数。

部局間学術交流協定校(9カ国(地域)・20機関)

国・地域	締結機関名	受入数	派遣数	共同研究
法文学部	ミュンヘン大学東アジア研究部日本センター	1(1)	3(1)	
韓教育学部	釜山大学社会科学部	1(1)	3(1)	
インドネシア	ボソ大学哲学部	2(2)		
理工学部	インドネシア科学院生物学研究センター	4(1)	9(4)	3
歯学部	王立プリンスオブソングラー大学歯学部	11(9)		3
工学部	南開大学情報技術科学学院			
中台	成功大学工学院		1	
タイラ	チュロンコン大学石油及石油化学大学院			
農学部	イラン理工科大学			
インドネシア	ディボネゴロ大学農畜産学部	3(3)		
タ	国立モンクット王トンプリ工科大学生物資源工学研究科	3(2)		
タンザニア	ソコイネ農科大学	4(4)		
水産学				
中韓	大連水産学院	2(2)	2(1)	
韓国	韓国海洋研究所			
	東南アジア漁業開発センター	2	13(5)	
タイ	カセサート大学水産学部	1	8	1
インドネシア	八サヌディン大学海洋科学水産学部	1	3	
台湾	国立高雄海洋科技大学	56(50)	3	
医歯学総合研究科				
スペイン	スペイン自然科学博物館古生物学部門			
インドネシア	ジェンバ大学医学部	1		

(注)受入数・派遣数欄の()は、学生交流数で内数。

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

外国人研究者受入状況

(平成19年度)

区分	法文学部	教育学部	理学部	医学部	工学部	農学部	水産学部	理工学研究科	医歯学総合研究科	司法政策研究科	臨床心理学研究科	学施設等	合計
外国人研究員									1			1	2
外国人教員等	4	1	1	1	3	1	2		2			4	19
国際協力機構(JICA)による研修員							10		8				18
国際協力銀行(JBIC)による研修員		2			1		5		1				9
日本学術振興会(JSPS)科学研究費補助金		2	1						1				4
日本学生支援機構(JASSO)					1	1						1	3
外国政府・機関等支弁による研究員	1		3				6		3				16
その他の研究員		2	20	2	2	39	6	1	55	1	2	5	135
視察・来訪等	1	3					14					33	57
合計	6	10	30	3	8	66	94	1	74	1	2	45	340

教職員の海外渡航状況

【地域別】

(平成19年度)

区分	法文学部	教育学部	理学部	医学部	医・歯学 附属病院	工学部	農学部	水産学部	理工学研究科	医歯学総合研究科	司法政策研究科	臨床心理学研究科	学施設等	合計
アジア	27	14	28	5	25	35	42	31	13	54			19	293
中近東			1							1				2
大洋州	5	2	2		4	6	3		2	4			8	36
アフリカ			1				1	1					2	5
欧州	14	14	15	1	10	8	12	3	1	19	1		4	102
北米	5	10	7	6	42	18	13	1	11	48	1	2	23	187
中南米					1	1	1							3
合計	51	40	54	12	82	68	72	36	27	126	2	2	56	628

【経費別】

(平成19年度)

経費の種類	法文学部	教育学部	理学部	医学部	医・歯学 附属病院	工学部	農学部	水産学部	理工学研究科	医歯学総合研究科	司法政策研究科	臨床心理学研究科	学施設等	合計
文部科学省	4	1	4			1	5	6		1	1		9	32
その他の省庁			3		1		2	1		6				13
国際協力機構(JICA)				2			1	1					3	7
日本学術振興会(JSPS)	1	1	8			2	2	10	2	4			3	33
科学研究費補助金	17	13	19	5	12	11	13	2	8	20	1	2	9	132
科学技術振興機構(JST)						2								2
鹿児島大学研究費	12	8	4	3	1	6	8	5	3	5			10	65
委任経理金等	1	2	4	2	58	34	25	7	10	62			3	208
外国の機関等	5	4	5		4		6	1	1	7			4	37
その他	11	11	7		6	12	10	3	3	21			15	99
合計	51	40	54	12	82	68	72	36	27	126	2	2	56	628

部局別国際共同研究実施件数

(平成19年度)

法文学部	教育学部	理学部	医・歯学 附属病院	工学部	農学部	水産学部	理工学研究科	医歯学総合研究科	学施設等	合計
6	7	25	3	7	16	9	10	48	31	162

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

外国人留学生

出身国(地域)別(39カ国・地域298名)

(平成20年5月1日現在)

地域	国(地域)	法文学部	教育学部	理学部	医学系	歯学系	工学部	農学部	水産学部	連合農学研究科	留学生センター	合計
ア ジ ア 州	インド						1			1	1	3
	インドネシア	1	1	4	2		4	3	1	6		22
	オマーン									1		1
	スリランカ									3		3
	タイ						1			3		4
	パキスタン				1		1			1		3
	バングラディシュ			1				1	1	9		12
	フィリピン			1			4	1		4	2	12
	ベトナム	1	1						1	3		6
	マレーシア			1			11			2		14
	ミャンマー			2			2	2		3	2	11
	韓国	5	6	1	6	3	3	3	3	2		32
	台湾	2	1		3		1					7
中国	29	18	7	10		36	3	10	11		124	
ネパール				1		1				1	3	
ブータン									1		1	
大洋州	オーストラリア	1	1				1					3
	ソロモン諸島			1								1
	トンガ										1	1
ア フリ カ 州	エジプト				2		1					3
	カメルーン			1								1
	ケニア共和国								1	1		2
	コートジボワール									1		1
	タンザニア									3		3
	チュニジア									1		1
	ナイジェリア									1		1
	マダガスカル									1		1
モリタニア										1	1	
リビア									1		1	
欧州	ドイツ	1	3									4
	スペイン						2	1				3
	ブルガリア	1										1
	英国		1	1								2
中南アメリカ州	キューバ									1		1
	ジャマイカ				1							1
	アルゼンチン	1										1
	コロンビア				1					1		2
	ブラジル	1					1	2				4
パラグアイ						1					1	
合計	43	32	20	27	4	72	14	17	61 ⁽⁴⁴⁾	8	298 ⁽⁹⁷⁾	

(注) 印内は内数で国費留学生

在籍別

(平成20年5月1日現在)

在籍	法文学部	教育学部	理学部	医学系	歯学系	工学部	農学部	水産学部	連合農学研究科	留学生センター	合計
大学院 博士 博士後期 1				4							4
" " 3	1		4	4		5			27 ⁽¹⁷⁾		41 ⁽²⁹⁾
" " 2	2		4	6		4			14 ⁽¹⁴⁾		30 ⁽²³⁾
" " 1	3		1	2	1	4			20 ⁽¹³⁾		31 ⁽¹⁸⁾
" 修士 博士前期 2	7	7	2			7	4	7			34
" " 1	3	3	3			8	3	4			24
学部	6			3							3
"	5			1			1				2
"	4	5	2	1		14	1	1			24
"	3	1	1	2		12		1			17
"	2	1	1	2	2	9		1			17
"	1	1	1	1	1	3					7
研究生	5	7	1			4		1			18
科目等履修生	3	1									4
特別研究学生	1		1	2		1	3				8
特別聴講学生	10	10		1		1	2	2			26
日本語研修コース生										8	8
合計	43	32	20	27	4	72 ⁽¹⁴⁾	14	17	61 ⁽⁴⁴⁾	8	298 ⁽⁹⁷⁾

(注) 1. 大学院連合農学研究科61名の内訳(鹿大35⁽²⁷⁾ 宮大3 佐大11 琉大12)

2. 印内は内数で国費留学生

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

経費種別

(平成20年5月1日現在)

種 別	大学院生		学部学生		研究生		科目等履修生		特別研究学生		特別聴講学生		日本語研修コース生		合 計
国 費 留 学 生	82	(22)	1		3				1		1	(1)	8	(4)	96 (27)
マレーシア政府派遣	1	(1)		8	(3)										9 (4)
鹿児島県費留学生					2	(2)									2 (2)
日韓共同理工系学部留学生			1												1
短期支援制度による留学生									3	(1)	4	(2)			7 (3)
私 費 留 学 生	81	(38)	60	(30)	13	(6)	4	(2)	4	(3)	21	(13)			183 (92)
計	164	(61)	70	(33)	18	(8)	4	(2)	8	(4)	26	(16)	8	(4)	298 (128)

(注) ()内は女子で内数で示す。

学部別

(平成20年5月1日現在)

学 部	国 費		日韓共同理工系	外国政府派遣	私 費 等		合 計		
	学部学生	研究生等	学部学生	学部学生	学部学生	研究生等			
法 文 学 部	1				7	(5)	14 (10)	22 (15)	
教 育 学 部		2	(1)		4	(3)	15 (8)	21 (12)	
理 学 部					4	(2)		4 (2)	
医 学 部					8	(5)	1 (1)	9 (6)	
歯 学 部					3	(1)		3 (1)	
工 学 部			1	8	(3)	29	(11)	5 (2)	43 (16)
農 学 部					2	(2)	2 (1)	4 (3)	
水 産 学 部					3	(1)	2 (1)	5 (2)	
合 計	1	2	(1)	1	8	(3)	60 (30)	39 (23)	111 (57)

(注) ()内は女子で内数で示す。

大学院別

(平成20年5月1日現在)

研 究 科	国 費			外国政府派遣			私 費 等			合 計			
	修士・博士前期	博士・博士後期	研究生等	修士・博士前期	博士・博士後期	研究生等	修士・博士前期	博士・博士後期	研究生等				
人文社会科学研究科		2					10	(6)	4 (2)	5 (3)	21 (11)		
教育学研究科			1				10	(6)			11 (6)		
医歯学総合研究科		7	(4)	1					9 (5)	1 (1)	18 (10)		
保健学研究科									1 (1)		1 (1)		
理工学研究科	4	17	(5)	1			16	(7)	5 (1)	2 (1)	45 (14)		
農学研究科	4	(3)					3	(3)		3 (1)	10 (7)		
水産学研究科	4						7	(2)		1	12 (2)		
連合農学研究科		44	(10)		1	(1)			16 (5)		61 (16)		
合 計	12	(3)	70	(19)	3		46	(24)	35	(14)	12	(6)	179 (67)

(注) ()内は女子で内数で示す。

日本語教育施設

(平成20年5月1日現在)

学内共同教育研究施設	国 費			外国政府派遣			私 費 等			合 計	
	修士・博士前期	博士・博士後期	研究生等	修士・博士前期	博士・博士後期	研究生等	修士・博士前期	博士・博士後期	研究生等		
留学生センター			8	(4)							8 (4)

(注) ()内は女子で内数で示す。

はじめに

組
織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財
務

キャンパス

米国シリコンバレーオフィス

アメリカ合衆国カリフォルニア州サンノゼ市にあるピクセラ社(CEO 井手祐二氏、本学工学部卒)内に、ブランチオフィスとして、(1)学生や教職員の教育・研修のサポート、(2)本学への米国内の学術情報等の提供、(3)本学と米国の企業・大学等との共同研究/共同事業、本学発のベンチャーの相談・創業のコンサルテーション、(4)本学への海外戦略等に関する提言等を目的として、平成16年12月に設置された。

オフィス長にピクセラ社CEO井手祐二特任教授(本学国際戦略本部アドバイザー兼務)を配置し、本学の大学院生、事務職員を対象としたシリコンバレーセミナーツアー、日米未来フォーラム、国際技術移転フォーラム等を企画、実施している。

一方、ベイエリア地区に拠点を置く日本の大学間のネットワークであるJUNBA(サンフランシスコ・ベイエリア大学間連携ネットワーク)での情報交換や共同事業などにも積極的に参加しており、本学の教育・研究活動の場が更に広がっている。また平成20年4月には、井手特任教授がJUNBA会長に就任し、日本全体の大学の国際化や日米学術交流にも大きく貢献している。



シリコンバレーオフィスのあるピクセラ社



セミナーツアー

フィリピン大学ビサヤス校リエゾン・オフィス

鹿児島大学水産学部のキャンパスに、同学部と学術交流協定を締結しているフィリピン大学ビサヤス校(UPV)の日本オフィスが平成18年4月に開設された。水産学部のフィリピン・オフィスは平成18年2月にUPVのミヤガオ・キャンパスに開設されており、平成19年12月には両者の協定は大学間協定に改定された。大学間協定大学とリエゾン・オフィスを相互に開設するのは、鹿児島大学としても初めてである。研究室と実験室を併設したオフィスには、フィリピンから新たに採用された准教授が常駐しており、水産資源管理や水圏環境の管理・保全に関する共同研究の拠点となるものと期待されている。

水産学部は、平成10年から「フィリピンにおける水産資源と水圏環境の管理と保全に関する研究」をテーマに、UPVと拠点大学方式による研究交流を行ってきた。さらに、平成20年から「水圏環境の保全と管理」を主なテーマとした、アジア研究教育拠点形成という国際的な事業を開始した。



フィリピン大学ビサヤス校

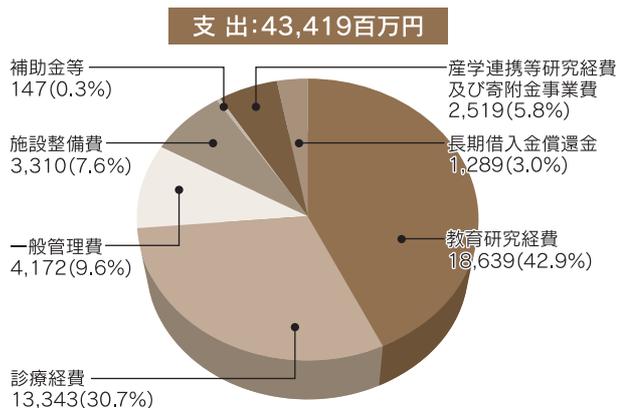
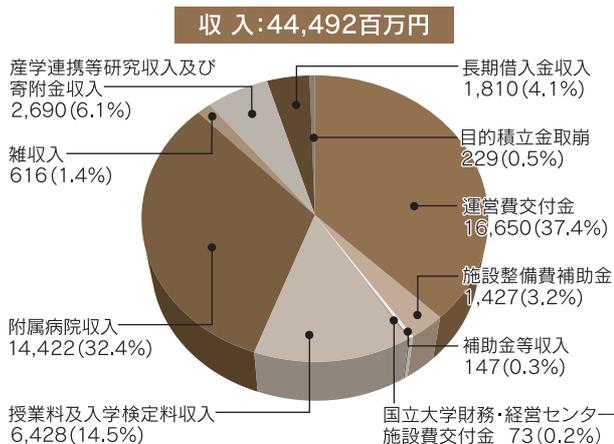


ビサヤス校ミヤガオ・キャンパス



財務状況

【平成19年度収入・支出決算額】



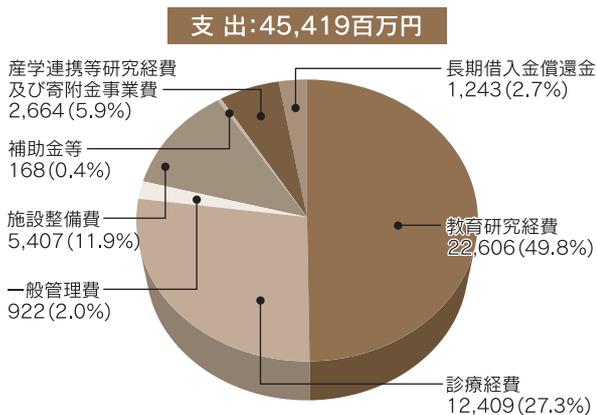
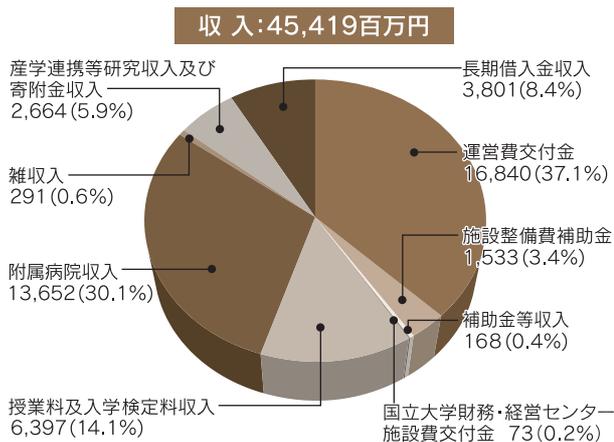
(単位:百万円)

収入	金額
運営費交付金	16,650
施設整備費補助金	1,427
補助金等収入	147
国立大学財務・経営センター施設費交付金	73
授業料及入学検定料収入	6,428
附属病院収入	14,422
雑収入	616
産学連携等研究収入及び寄附金収入	2,690
長期借入金収入	1,810
目的積立金取崩	229
合計	44,492

(単位:百万円)

支出	金額
教育研究経費	18,639
診療経費	13,343
一般管理費	4,172
施設整備費	3,310
補助金等	147
産学連携等研究経費及び寄附金事業費	2,519
長期借入金償還金	1,289
合計	43,419

【平成20年度予算】



(単位:百万円)

収入	金額
運営費交付金	16,840
施設整備費補助金	1,533
補助金等収入	168
国立大学財務・経営センター施設費交付金	73
授業料及入学検定料収入	6,397
附属病院収入	13,652
雑収入	291
産学連携等研究収入及び寄附金収入	2,664
長期借入金収入	3,801
合計	45,419

(単位:百万円)

支出	金額
教育研究経費	22,606
診療経費	12,409
一般管理費	922
施設整備費	5,407
補助金等	168
産学連携等研究経費及び寄附金事業費	2,664
長期借入金償還金	1,243
合計	45,419

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

外部資金受入状況

科学研究費補助金

【種目別採択状況】

(平成20年度) (単位:千円)

研究種目	件数	金額	研究種目	件数	金額
基盤研究(S)	1	16,000	萌芽研究	16	23,400
基盤研究(A)	5	47,100	若手研究(A)	4	15,900
基盤研究(B)	49	214,400	若手研究(B)	79	89,500
基盤研究(C)	145	179,500	若手研究スタートアップ	3	3,980
特定領域研究	5	32,200	合計	307	621,980

【学部等別採択状況】

(単位:千円)

学部等	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
学内共同教育研究施設等	11	33,200	14	50,700	14	46,700
法文学部	16	22,000	15	22,300	18	24,700
教育学部	14	18,400	15	15,900	15	16,500
理学部	20	41,300	21	38,500	16	26,100
医学部	10	9,500	9	16,100	13	15,500
医学部・歯学部附属病院	30	45,800	38	55,690	43	57,630
工学部	43	95,500	35	64,700	34	68,700
農学部	35	52,500	39	105,500	39	86,000
水産学部	11	23,100	8	13,200	8	8,800
大学院理工学研究科	5	9,900	11	22,700	10	16,000
大学院医歯学総合研究科	103	252,200	107	299,300	94	253,150
大学院司法政策研究科	2	1,200	2	1,200	1	500
大学院臨床心理学研究科 (~19.3 大学院人文社会科学研究科)	2	2,200	3	3,700	1	700
大学院連合農学研究科	1	600	1	1,700	1	1,000
合計	303	607,400	318	711,190	307	621,980

(注)件数及び金額は、研究計画書提出時の所属部局で計上。

厚生労働科学研究費補助金

(単位:千円)

研究事業名	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
こころの健康科学研究事業	1	25,000			2	30,000
医療機器開発推進研究事業			1	42,488 (12,746)		
基礎研究成果の臨床応用推進研究事業	1	67,500 (20,250)	1	67,500 (10,641)	1	59,405 (17,821)
食品の安心・安全確保推進研究事業	1	3,000				
政策創薬総合研究事業	1	13,000				
第3次対がん総合戦略	1	24,000	1	23,000	1	25,200
萌芽の先端医療技術推進研究事業	1	38,250 (11,475)				
難治性疾患克服研究事業					1	33,000 (9,900)
合計	6	170,750 (31,725)	3	132,988 (23,387)	5	147,605 (27,721)

(注)下段()書きは、間接経費で外数

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構助成金

(単位:千円)

研究事業名	平成18年度		平成19年度	
	件数	金額	件数	金額
産業技術研究助成事業	1	8,390 (2,517)	1	960 (288)

(注)下段()書きは、間接経費で外数

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

外部資金受入状況

奨学寄附金

(単位:千円)

学 部 等	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
事 務 局	12	18,390	8	7,550	12	55,100
学内共同教育研究施設	18	11,041	19	134,481	17	52,762
法 文 学 部	1	360	4	3,500	1	400
臨床心理学研究科					6	3,960
教育学部(附属学校含む)	16	9,810	10	5,550	138	10,980
理 学 部	18	14,279	13	12,009	21	23,453
医学部・保健学研究科	16	4,730	25	8,437	22	11,698
歯 学 部	2	400	1	100	1	100
工 学 部	84	61,473	101	79,111	101	62,471
農 学 部	61	47,224	146	190,283	221	187,369
水 産 学 部	41	27,770	27	15,882	28	18,369
大学院医歯学総合研究科	793	761,289	813	826,458	792	839,811
医学部・歯学部附属病院	119	79,127	112	73,563	109	75,210
合 計	1,181	1,035,893	1,279	1,356,924	1,469	1,341,683

受託研究 (医薬品等の臨床研究、受託試験、病理組織検査、動物病理組織検査等を含む。)

(単位:千円)

学 部 等	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
事 務 局	2	23,639	1	41,053	1	48,984
学内共同教育研究施設等	2	1,800	2	21,254	2	20,140
法 文 学 部	2	1,685	1	1,300		
教 育 学 部			2	5,522	3	8,078
理 学 部	1	1,575	5	50,624	9	64,206
医学部・保健学研究科					1	288
歯 学 部						
工 学 部	189 (169)	108,716 (11,438)	182 (153)	247,328 (9,726)	159 (142)	168,172 (8,845)
理 工 学 研 究 科					10	34,689
農 学 部	176 (157)	42,690 (2,276)	403 (368)	106,535 (4,484)	385 (350)	161,936 (4,328)
水 産 学 部	12	16,572	20	73,658	25	53,493
大学院医歯学総合研究科	196 (160)	120,254 (40,187)	213 (171)	145,460 (46,875)	226 (189)	197,397 (54,005)
医学部・歯学部附属病院	123 (117)	134,113 (128,267)	129 (118)	135,422 (129,081)	147 (135)	111,998 (104,713)
合 計	703 (603)	451,044 (182,168)	958 (810)	828,156 (190,166)	968 (816)	869,381 (171,891)

(注) 医薬品等の臨床研究、受託試験、病理組織検査、動物病理組織検査等分(): 内数で記載

共同研究

(単位:千円)

学 部 等	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
事 務 局			1	500	2	500
学内共同教育研究施設等	1	3,000	4	5,000	4	3,000
教育学部(附属学校含む)	1	3,150	2	4,150	2	3,550
理 学 部	8	4,395	10	2,880	10	975
医学部・歯学部附属病院	1	53	1	0	3	400
医 歯 学 総 合 研 究 科	11	15,790	22	33,368	32	42,974
工 学 部	40	63,503	51	61,035	48	88,359
農 学 部	26	47,914	26	32,608	32	58,044
水 産 学 部	8	9,050	14	13,550	15	14,742
合 計	96	146,855	131	153,091	148	212,544

(注)1. 上記額は、契約金額ベースで集計。

2. 共同研究契約については、金額の受入がない契約もあり。(必要な経費は各機関で措置する。)

はじめに

組
織

学
部・
大
学
院
等

学
生
等

教
育・
研
究・
社
会
貢
献
活
動

国
際
交
流

財
務

キ
ャ
ン
パ
ス

土地・建物・船舶

土地・建物・船舶

(平成20年5月1日現在)

区 分	土地 (m ²)	建物 延面積 (m ²)			備考(単位:m ²)	
		木 造	非木造	計		
郡元地区	事務局	233,630 (22)	33	10,389	10,422	
	保健管理センター			561	561	
	附属図書館			12,703	12,703	
	法文学部			6,930	6,930	
	理学部			13,871	13,871	
	工学部			40,524	40,524	
	農学部		210	32,210	32,420	
	共通教育			17,616	17,616	
その他			10,705	10,705		
教育学部	118,265	690	42,008	42,698		
小 計	351,895 (22)	933	187,517	188,450		
桜ヶ丘地区	医学部	218,726 (2)		21,998	21,998	看護師宿舎 (土地4,431 建物4,127)
	歯学部			3,115	3,115	
	歯学総合研究科			33,261	33,261	
	医学部・歯学部附属病院			58,758	58,758	
	附属図書館			1,978	1,978	
	フロンティアサイエンス研究推進センター			4,381	4,381	
	亀ヶ原総合グラウンド			52	52	
桜ヶ丘寄居宿舎		3,122	3,122			
小 計	218,726 (2)		126,665	126,665		
下荒田地区	水産学部地区	49,153	93	12,057	12,150	宿舎 (土地3,382 建物2,028)
	国際交流会館(1号館)			1,430	1,430	
	国際交流会館(2号館)			1,259	1,259	
	外国人研究者宿泊施設			502	502	
	実証棟			185	185	
小 計	49,153	93	15,433	15,526		
その他	唐湊寄居宿舎	24,696		5,694	5,694	その他宿舎 (土地25,234 建物15,338)
	唐湊果樹園	72,682		1,207	1,207	
	唐湊林園	9,957	19		19	
	寺山自然教育研究施設	301,248		831	831	
	教育学部附属特別支援学校	16,776	509	3,058	3,567	
	桜島火山観測点	297		31	31	
	霧島リハビリテーションセンター	15,425 (123)	6	4,564	4,570	
	高隈演習林	30,618,064	88	1,535	1,623	
	佐多演習林	2,975,406		166	166	
	入来牧場	1,478,451 (25)		3,497	3,497	
	垂水実験地	4,622	68		68	
	桜島熔岩実験場	372,713				
	指宿植物試験場	40,907	313	2,246	2,559	
	東町ステーション	16,902		1,183	1,183	
	鴨池臨海地	4,990 (94)		1,642	1,642	
	職員会館及び外国人宿泊施設	955		717	717	
	磯艇庫	407 (202)		243	243	
	谷山ふ頭	(776)				
	平川艇庫	(595)		208	208	
	甌島観測点	(49)		24	24	
伊集院観測点	(7)					
屋久島観測点	(114)		40	40		
串間観測点	(58)		58	58		
紫尾観測点	(58)		58	58		
黒島観測点	(58)		58	58		
佐多観測点	(58)		11	11		
高岡観測点	(106)		40	40		
吉松観測点	(47)					
田代観測点	(6)					
その他	(281)		598	598		
小 計	35,954,498 (2,657)	1,003	27,709	28,712		
合 計	36,574,272 (2,681)	2,029	357,324	359,353	宿舎(土地35,981 建物22,382)	

(注) 1. 土地欄()内数量は借用地
2. 各地区土地及び建物数量には備考欄宿舎の数量は含まない。

船 名	トン数(トン)	機 関	馬 力	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	建造年月日
かごしま丸	1,292.75	ディーゼル	2,200	62.70	12.60	5.45	昭和56年10月30日
南星丸	175.00	"	1,800	34.20	7.50	3.30	平成14年11月28日

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

大学会館

大学会館は、学生相互並びに学生と職員間の人間関係を緊密にし、かつ、学生の教養を高め、豊かな人間性・社会性を涵養するための課外教育活動を盛んにし、また、その厚生福祉に寄与することを目的に、1号館が昭和47年3月、2・4号館が昭和36年5月、3号館が昭和37年8月に設置された。

開館時間は午前9時から午後9時まで、休館日は日曜日・祝日及び12月29日から翌年1月3日までとなっている。



建物名称	階別	施設名	用途等
1号館 (1,409m ²)	1	軽食堂	喫茶、食事 (50席)
		理髪室	理髪 (4台)
	2	共用談話室	休憩、談話 (52人)
		音楽鑑賞室	音楽鑑賞 (56人)
		会議室(1・2)	会議、研究会等 (42人・20人)
3	和室(1~5)	会議及び邦楽、茶道・華道等の練習	
	4	ホール	音楽会、講演会、研究会等(300人)
1		音楽練習室(1・2)	音楽等練習
	2号館 (779m ²)	1	小集会室
2		サークル連絡室	サークル活動
3号館 (422m ²)	1	サークル連絡室	サークル活動
	1	大集会室	音楽会、講演会、映画会、研究会等(500人)
4号館 (448m ²)	1	厚生センター	書籍、日用品等の購売

課外活動施設

課外活動(サークル)は、大学教育における人間形成の上で必要不可欠であり、各キャンパス毎に課外活動施設を有している。体育系サークルが利用する体育施設、文化系サークルが主に利用する大学会館(1~3号館)以外に、平成14年3月に設置された課外活動共用施設などがある。

課外活動共用施設は、サークル間の交流・連携の場(学生の交流プラザ)としての中庭を囲むようにして、防音設備完備の音楽練習室、シャワー室、共用ラウンジ、共用ミーティング室及びサークル室等を配置し、文化系、体育系合わせて90サークルが使用している。

施設名	所在地	備考
課外活動共用施設	郡元地区	文化系・体育系サークル
馬房(厩舎)	郡元地区	馬術
平川艇庫	平川町海岸	ヨット
磯艇庫	磯海岸	ボート
鴨池艇庫	鴨池臨海地	カッター



課外活動共用施設(サークル棟)

食堂



中央食堂



郡元南食堂

食堂名	延面積	席数	所在地
中央食堂	1,347m ²	510席	総合地区(郡元地区)
軽食堂(ガロア)	121m ²	50席	総合地区(郡元地区)
郡元南食堂	882m ²	190席	教育学部内()
桜ヶ丘会館	417m ²	190席	医学部内(桜ヶ丘地区)
水産学部食堂	350m ²	120席	水産学部内(下荒田地区)

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

国際交流会館

国際交流会館は、本学の外国人留学生及び本学において教育・研究に従事する外国人研究者に対し居住の場を提供し、国際交流の促進に資することを目的に1号館が昭和54年4月に2号館が平成6年10月に設置された。



(1号館)

室名	面積(m ²)	室数
単身室	12	35室
夫婦室	39	3室
家族室	59	2室
主事室	14	
事務室	16	
談話室	47	
娯楽室	94	
和室	25	
補食室	5~12	4室
浴室	5~8	4室
洗濯室	10	4室
管理人室	52	
倉庫	7	

備考：延面積 1,430m²
建物構造 RC4

(2号館)

室名	面積(m ²)	室数
単身室	12	30室
夫婦室	40	6室
家族室	56	4室
補食室	11	4室
洗濯・シャワー室	11	4室
ラウンジコーナー	49	
応接コーナー	14	

備考：延面積 1,259m²
建物構造 R4

外国人研究者宿泊施設

鹿児島大学創立50周年記念事業の一環で寄付された外国人研究者のための宿泊施設で、平成15年12月に下荒田キャンパスに完成した。

建物は鉄骨造地上2階、延床面積502m²で長期滞在用と短期滞在用の計16室の単身室で構成され、各個室にはテレビ、冷蔵庫等が備えられている。



学生寮



棟名	区分	建物	延面積(m ²)	収容定員(人)
唐湊寄宿舍	A棟	鉄筋5階建	1,412	76
	B棟	"	1,568	92
	C棟	鉄筋2階建	629	64
	女子寮	鉄筋4階建	1,600	81
	共用棟	鉄筋1階建	317	
桜ヶ丘寄宿舍		鉄筋5階建	2,696	99
合計			8,222	412

体育施設(体育館等)

施設名	所在地	備考
陸上競技場	郡元地区	400mトラック、夜間照明あり
球技場	"	夜間照明あり
亀ヶ原運動場	桜ヶ丘地区	野球場
桜ヶ丘グラウンド	"	サッカー・ラグビー場
テニスコート	郡元地区	8面、夜間照明あり
"	桜ヶ丘地区	7面
第1体育館	郡元地区	1,122m ²
第2体育館	"	2,461m ²
桜ヶ丘体育館	桜ヶ丘地区	1,072m ²
武道館	郡元地区	391m ²
医・歯学部課外活動施設(武道場)	桜ヶ丘地区	451m ²
弓道場	郡元地区	39m×14m
"	桜ヶ丘地区	38m×12m
室内プール	郡元地区	50m(7コース)



稲盛会館

稲盛和夫京セラ(株)名誉会長から寄贈されたもので、教育および学術の交流の場として本学の職員その他の関係者の利用に供することにより、本学の教育・研究の進展に資するとともに、学術および文化の向上に寄与することを目的としている。

日本を代表する著名な建築家安藤忠雄氏の設計
(地下1階～地上3階建、建面積810.40㎡、延面積1,628.85㎡)



はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

郡元キャンパス

法文学部 大学院司法政策研究科
 教育学部 大学院臨床心理学研究科
 理学部 大学院連合農学研究科
 工学部
 農学部

- 1 北辰通り(大正4年第七高等学校第14回記念祭歌「北辰斜に」に由来)
- 2 銀杏並木通り
- 3 稲盛通り(稲盛和夫京セラ名誉会長の寄贈の稲盛会館にちなんだもの)
- 4 田園通り(附属農場越しに桜島が望めます。)
- 5 みのりの小径
- 6 本部前・緒方通り(初代学長 緒方健三郎氏に由来)
- 7 植物園通り
- 8 ふれあい通り
- 9 教育学部通り
- 10 玉利通り(鹿児島高等農林学校初代校長 玉利喜造博士に由来)
- 11 工学部通り
- 12 理学部通り
- 13 森の小径
- 14 法文学部通り

- 1 インフォメーションセンター
- 2 事務局
- 3 保健管理センター
- 4 事務局車庫、埋蔵文化財調査室
- 5 農学部共通棟(管理室・講義室・学生実験室・セミナー室)
- 6 " 研究棟A(獣医学科実験研究室)
- 7 " 研究棟B(獣医学科実験研究室)
- 8 " 研究棟C(生物資源化学科・生物環境学科実験研究室)
- 9 " 研究棟D
(生物生産学科・生物資源化学科・生物環境学科実験研究室)
- 10 農学部研究棟E(生物環境学科実験研究室・附属演習林)
- 11 " 附属動物病院
- 12 焼酎学講座研究棟(北辰蔵)
- 13 農学部温室
- 14 " 植物研究実験施設(温室)
- 15 " 硝子室
- 16 " 附属農場動物飼育棟
- 17 " 附属農場研究実習棟
- 18 " 低温貯蔵実験棟
- 19 " 水利実験棟
- 20 " 昆虫飼育棟
- 21 共同利用棟(獣医学科実験研究室)
- 22 遺伝子実験施設
(フロンティアサイエンス研究推進センター)
- 23 RI実験施設(アイソトープ総合実験室)
- 24 馬術部馬房
- 25 大学院連合農学研究科棟
- 26 総合研究博物館展示棟(常設展示室)
- 27 大学会館(3号館)
- 28 " (1・2・4号館)
- 29 中央食堂
- 30 ボイラー棟・廃液処理施設
- 31 産学官連携推進機構棟1
- 32 産学官連携推進機構棟2(ベンチャービジネスラボラトリー)
- 33 学術情報基盤センター
- 34 変電所
- 35 工学部情報工学科棟
- 36 " 中央実験工場
- 37 " 電気電子工学科棟
- 38 " 建築学科棟

- 39 工学部応用化学工学科1号棟
- 40 " 機械工学科第一実験棟
- 41 " 機械工学科第二実験棟
- 42 " 機械工学科第三実験棟
- 43 " 機械工学科2号棟
- 44 " 機械工学科1号棟
- 45 " 応用化学工学科2号棟
- 46 " 薬品庫
- 47 " 海洋波動実験棟
- 48 稲盛会館
- 49 工学部管理棟
- 50 倉庫
- 51 工学部海洋土木工学科棟
- 52 " 共通棟(生体工学科)
- 53 理工系総合研究棟
(フロンティアサイエンス研究推進センター・機器分析室)
- 54 理学部1号館(管理室・物理科学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室) 理系先端研究棟
- 55 理学部2号館(数理情報科学科・生命化学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)
- 56 理学部3号館
(生命化学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)
- 57 総合研究博物館
- 58 共通教育棟1号館(管理室・講義室・教育センター・就職支援センター・留学生センター・生涯学習教育研究センター)
- 59 " 2号館(文科研究室・講義室)
- 60 稲盛アカデミー棟(8月完成)
- 61 共通教育棟3号館(理科研究室・講義室・実験室)
- 62 " 4号館(理科研究室・講義室・実験室)
- 63 中央図書館
- 64 総合教育研究棟(多島園研究センター・大学院司法政策研究科・大学院臨床心理学研究科)



はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

地区別建物等配置図



- 65 法文学部1号館(管理・研究・講義棟)
- 66 " 2号館(講義棟)
- 67 " 3号館(講義棟)
- 68 課外活動共用施設1(サークル棟)
- 69 屋内プール50m
- 70 弓道場
- 71 課外活動共用施設2(サークル棟)
- 72 第一体育館
- 73 第二体育館
- 74 教育学部体育科実験研究棟
- 75 " 武道場
- 76 郡元南食堂
- 77 教育学部管理棟・理系研究棟
- 78 " 実習棟
- 79 " 第一講義棟
- 80 " 第二講義棟
- 81 " 文系研究棟
- 82 附属教育実践総合センター
- 83 " 音楽美術科棟
- 84 " 附属幼稚園
- 85 " 附属小学校
- 86 " 附属小学校家畜舎
- 87 " 附属小学校昆虫飼育棟
- 88 " 附属小学校体育館
- 89 " 附属中学校
- 90 " 附属中学校体育館



はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

桜ヶ丘キャンパス

医学部
 歯学部
 大学院医歯学総合研究科
 医学部・歯学部附属病院



- ① 医学部臨床講義棟
- ② 医歯学総合研究科棟3（臨床医学系）
- ③ " 4（新臨床医学系）
難治ウイルス病態制御研究センター
- ④ 医歯学総合研究科棟2（基礎医学系）
- ⑤ RI実験施設
- ⑥ 動物実験施設
（フロンティアサイエンス研究推進センター）
- ⑦ 福利厚生施設（桜ヶ丘会館）
- ⑧ 学生宿舎
- ⑨ 医学部・歯学部附属病院看護師宿舎
- ⑩ " 附属病院医科病棟
- ⑪ " 附属病院医科診療棟
- ⑫ " 附属病院結核感染病棟
- ⑬ " 附属病院管理棟
- ⑭ 医学部基礎講義実習棟
医歯学総合研究科共同利用研究棟
- ⑮ 中央機械棟
- ⑯ ポンプ室
- ⑰ 附属図書館桜ヶ丘分館
- ⑱ サークル棟
- ⑲ 実験廃液処理施設
- ⑳ 医学部・歯学部附属病院歯科診療棟・病棟
- ㉑ 医歯学総合研究科棟1（歯学系）
- ㉒ 歯学部講義実習棟
- ㉓ 桜ヶ丘体育館
- ㉔ 体育器具庫
- ㉕ 医学部保健学科研究棟
- ㉖ 共通教育棟
- ㉗ MRI-CT装置棟
- ㉘ 医療情報施設
- ㉙ 鶴陵会館
- ㉚ 桜ヶ丘武道場
- ㉛ 弓道場
- ㉜ 患者用立体駐車場
- ㉝ さくらっ子保育園



はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

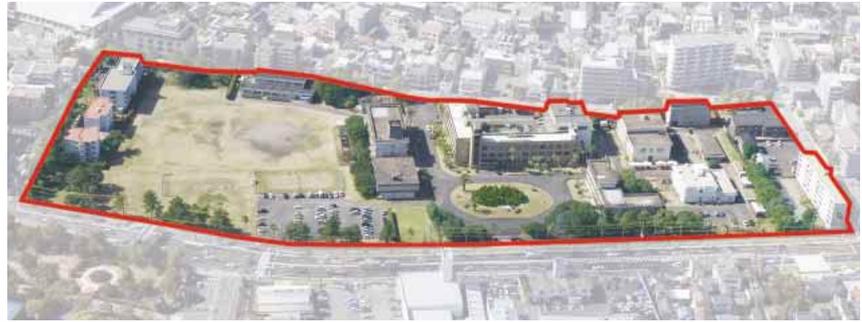
国際交流

財務

キャンパス

下荒田キャンパス

水産学部



- ① 管理・研究棟
- ② 資源利用科学棟
- ③ 食品・資源利用学実習棟・UPVリエゾンオフィス・プロジェクト研究室
- ④ 資源育成科学棟
- ⑤ 福利厚生棟
(1F: 食堂・売店、2F: 附属海洋資源環境教育研究センター)
- ⑥ 附属海洋資源環境教育センター実験・実習棟
- ⑦ 講義棟
- ⑧ 大型回流水槽実験棟
- ⑨ 変電室
- ⑩ 車庫・倉庫
- ⑪ 倉庫
- ⑫ サークル棟
- ⑬ 附属図書館水産学部分館
- ⑭ 国際交流会館(1号館)
- ⑮ " (2号館)
- ⑯ 職員宿舎
- ⑰ 外国人研究者宿泊施設

教育学部附属特別支援学校

下伊敷1丁目



- ① 校舎
- ② 体育館
- ③ 生活訓練棟
- ④ 水遊び場(プール)

学生寮

唐湊3丁目



- ① 男子寄宿舍A棟
- ② " B棟
- ③ " C棟
- ④ 女子寄宿舍
- ⑤ 共用棟

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

鹿児島市内交通アクセス

鹿児島空港から...鹿児島空港リムジンバスで鹿児島中央駅まで約40分

1 郡元キャンパス

事務局	附属図書館
法文学部	保健管理センター
教育学部	産学官連携推進機構
附属幼稚園	多島園研究センター
附属小学校	フロンティアサイエンス研究推進センター
附属中学校	総合研究博物館
附属教育実践総合センター	稲盛アカデミー
理学部	留学生センター
工学部	学術情報基盤センター
農学部	生涯学習教育研究センター
大学院司法政策研究科	教育センター
大学院臨床心理学研究科	埋蔵文化財調査室
大学院連合農学研究科	インフォメーションセンター

<鹿児島中央駅経由>

市電
「郡元行き」 工学部前まで10分

市バス
「9・11・20 番線(鴨池港行)」 鹿大正門前まで約10分

市バス
「9・11・20 番線(鴨池港行)」 法文学部前まで約10分

2 桜ヶ丘キャンパス

医学部 歯学部 大学院医歯学総合研究科
医学部・歯学部附属病院

<鹿児島中央駅経由>

市バス
「18番線(大学病院経由桜ヶ丘行)」
大学病院前まで約40分

市電
「谷山行き」 脇田電停下車
大学病院まで約1.2km(坂道徒歩約20分)

鹿児島交通バス
「14番線(大学病院行)」 大学病院前下車

3 下荒田キャンパス

水産学部

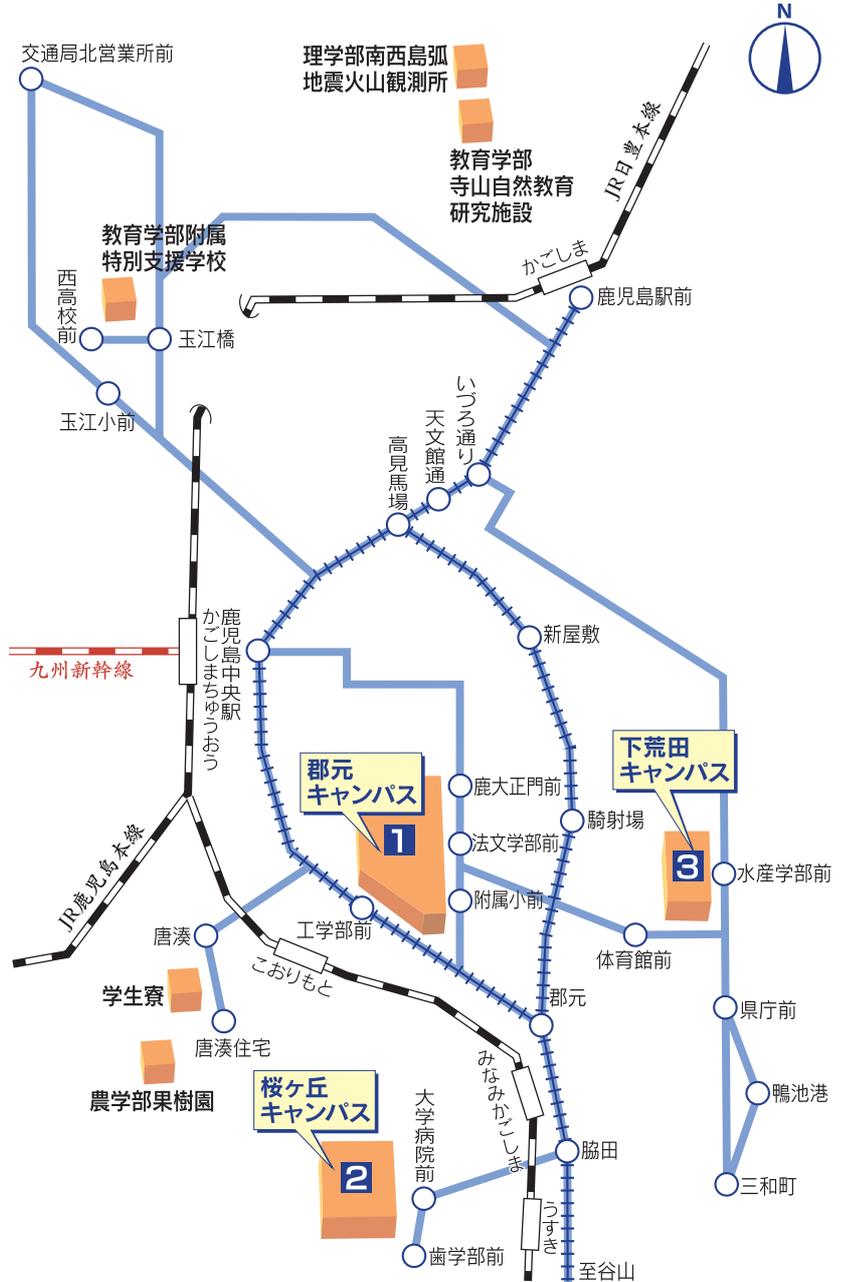
<鹿児島中央駅経由>

市バス
「11番線(鴨池港行)」 「18番線(大学病院経由桜ヶ丘行)」
体育館前まで約8分

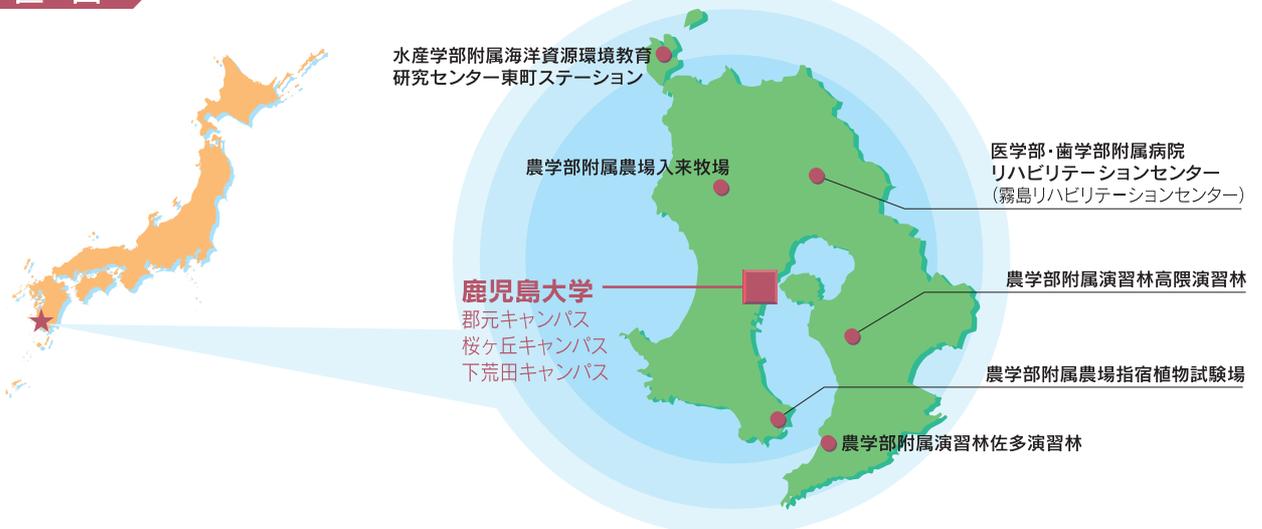
<鹿児島中央駅経由しない>

市バス
「12・31・32 番線(三和町行)」 水産学部前下車

市電
「谷山行き」 騎射場電停下車 徒歩5分



位置図



はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

所在地一覽

【事務局】	〒890-8580	鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【法文学部】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番30号	☎099(285)7111(代表)
【教育学部】	〒890-0065	〃 郡元一丁目20番6号	☎099(285)7111(代表)099(285)7729(時間外)
附属幼稚園	〒890-0065	〃 郡元一丁目20番15号	☎099(285)7990
附属小学校	〒890-0065	〃 郡元一丁目20番15号	☎099(285)7962
附属中学校	〒890-0065	〃 郡元一丁目20番35号	☎099(285)7932
附属特別支援学校	〒890-0005	〃 下伊敷一丁目10番1号	☎099(224)6257・099(224)0206
附属教育実践総合センター	〒890-0065	〃 郡元一丁目20番6号	☎099(285)7111(代表)
【理学部】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7111(代表)
附属南西島弧地震火山観測所	〒892-0871	〃 吉野町10861	☎099(244)7411
【医学部】	〒890-8544	〃 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)6111(代表)
【歯学部】	〒890-8544	〃 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)6111(代表)
【医学部・歯学部附属病院】	〒890-8520	〃 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)6111(代表)
霧島リハビリテーションセンター	〒899-6603	霧島市牧園町高千穂3930-7	☎0995(78)2457(代表)0995(78)2538(時間外)
【工学部】	〒890-0065	鹿児島市郡元一丁目21番40号	☎099(285)7111(代表)
【農学部】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
附属農場	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番24号	☎099(285)8771
唐湊果樹園	〒890-0081	〃 唐湊三丁目32番1号	☎099(254)1042
指宿植物試験場	〒891-0402	指宿市十町1291番地	☎0993(22)2848
入来牧場	〒895-1402	薩摩川内市入来町浦之名字大谷4018-3	☎0996(44)2204
附属演習林	〒890-0065	鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)8744
高隈演習林	〒891-2101	垂水市海潟3237番地	☎0994(32)6329
佐多演習林	〒893-2604	肝属郡南大隅町佐多大字馬籠349番地	
附属動物病院	〒890-0065	鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)8750
【水産学部】	〒890-0056	〃 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)4111(代表)
附属海洋資源環境教育研究センター	〒890-0056	〃 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)4296
附属海洋資源環境教育研究センター東町ステーション	〒899-1403	出水郡長島町諸浦字蛤潟1620-3	☎0996(64)6013
【大学院医歯学総合研究科】	〒890-8544	鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)6111(代表)
附属難治ウイルス病態制御研究センター	〒890-8544	〃 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)6111(代表)
【大学院司法政策研究科】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番30号	☎099(285)7111(代表)
【大学院臨床心理学研究科】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番30号	☎099(285)7111(代表)
【大学院連合農学研究科】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【附属図書館】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7415
桜ヶ丘分館	〒890-8532	〃 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)6201
水産学部分館	〒890-0056	〃 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)4051
【保健管理センター】	〒890-8580	〃 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7385
【多島圏研究センター】	〒890-8580	〃 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7394
【留学生センター】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番35号	☎099(285)8601
【総合研究博物館】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番30号	☎099(285)8141
【学術情報基盤センター】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7474
【生涯学習教育研究センター】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番30号	☎099(285)7294
【教育センター】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番30号	☎099(285)8821
【稲盛アカデミー】	〒890-8580	〃 郡元一丁目21番24号	☎099(285)8329
【フロンティアサイエンス研究推進センター】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番24号	☎099(285)8583
アイソトープ総合実験施設	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番24号	☎099(285)8594
遺伝子実験施設	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番24号	☎099(285)8581
動物実験施設	〒890-8520	〃 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)6500
機器分析施設	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7188
【産学官連携推進機構】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番40号	
産学官連携部門	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番40号	☎099(285)8491
知的財産部門	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番40号	☎099(285)8881
ベンチャービジネス部門	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番40号	☎099(285)8630
管理部門	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7106
【埋蔵文化財調査室】	〒890-8580	〃 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7220
【稲盛会館】	〒890-0065	〃 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7111(代表)
【大会館】	〒890-8580	〃 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7324
【学生寮】	〒890-0081	〃 唐湊三丁目3番1号	☎099(251)8238・099(254)9098
【国際交流会館(1号館・2号館)】	〒890-0056	〃 下荒田四丁目50番20号	☎099(252)7551
【職員会館(天心荘)】	〒890-0082	〃 紫原三丁目20番19号	☎099(252)8577
【外国人研究員等宿泊施設】	〒890-0082	〃 紫原三丁目20番19号	
【外国人研究者宿泊施設】	〒890-0056	〃 下荒田四丁目50番20号	
【シリコンバレーオフィス】		Pixera Corporation, 140 Knowles Drive, Los Gatos, CA 95032, USA アメリカ合衆国カリフォルニア州ロスガスト市ピクセラ社本社内	

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス



【編集・発行】
鹿児島大学総務部総務課

〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21番24号
代表電話 099(285)7111 FAX 099(285)7034
URL <http://www.kagoshima-u.ac.jp/>

【発行日】平成20年6月